

重点検討事項

「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

1 趣旨

新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術家や文化団体、企画制作スタッフ、関係事業者等は活動機会や収入を失うなどの大きな影響を受けた。とりわけ、職業として文化芸術に携わる文化芸術関係者においては、生計の維持が困難になるなど、活動継続（事業継続）にも支障が生じる事態となった。

一方で、県ではこうした文化芸術関係者の活動実態を適切に把握できておらず、このことが支援を行う上での課題となった。また、国においてもコロナ禍で同様の課題が生じている。

このため県では、文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、その基礎情報となる文化芸術関係者の活動実態を適切かつ継続的に把握していきたい。

（関連する重点施策・主な取組）

- 3 文化芸術をつなぎ支える人材の育成・確保
- 4 文化芸術の創り手や継承者の育成・支援
 - ・芸術家に必要な支援を届けるため、その活動実態を把握する手法を検討する。

2 今回の論点

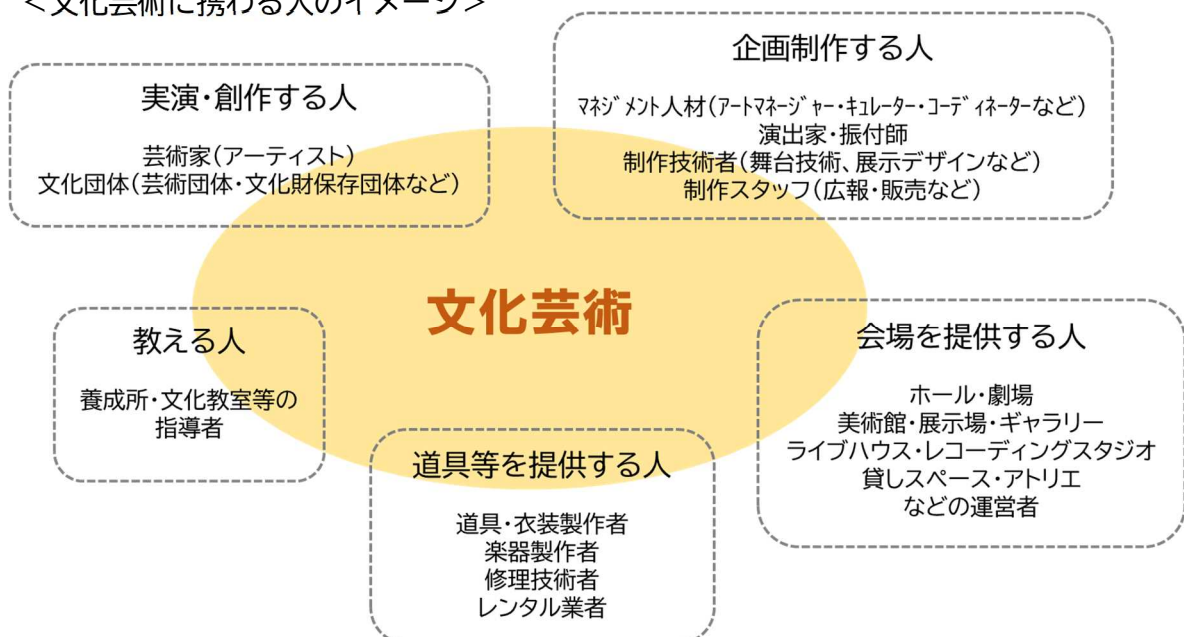
- ・ 文化芸術に携わる人の把握について

職業として文化芸術に携わる主体として、どのような領域にどのような人がいるのか。

- ・ 対象者の把握方法について

上記の人を把握するにはどのような方法があるか。（対象者とネットワークを持つ団体やキーパーソンの存在など。）

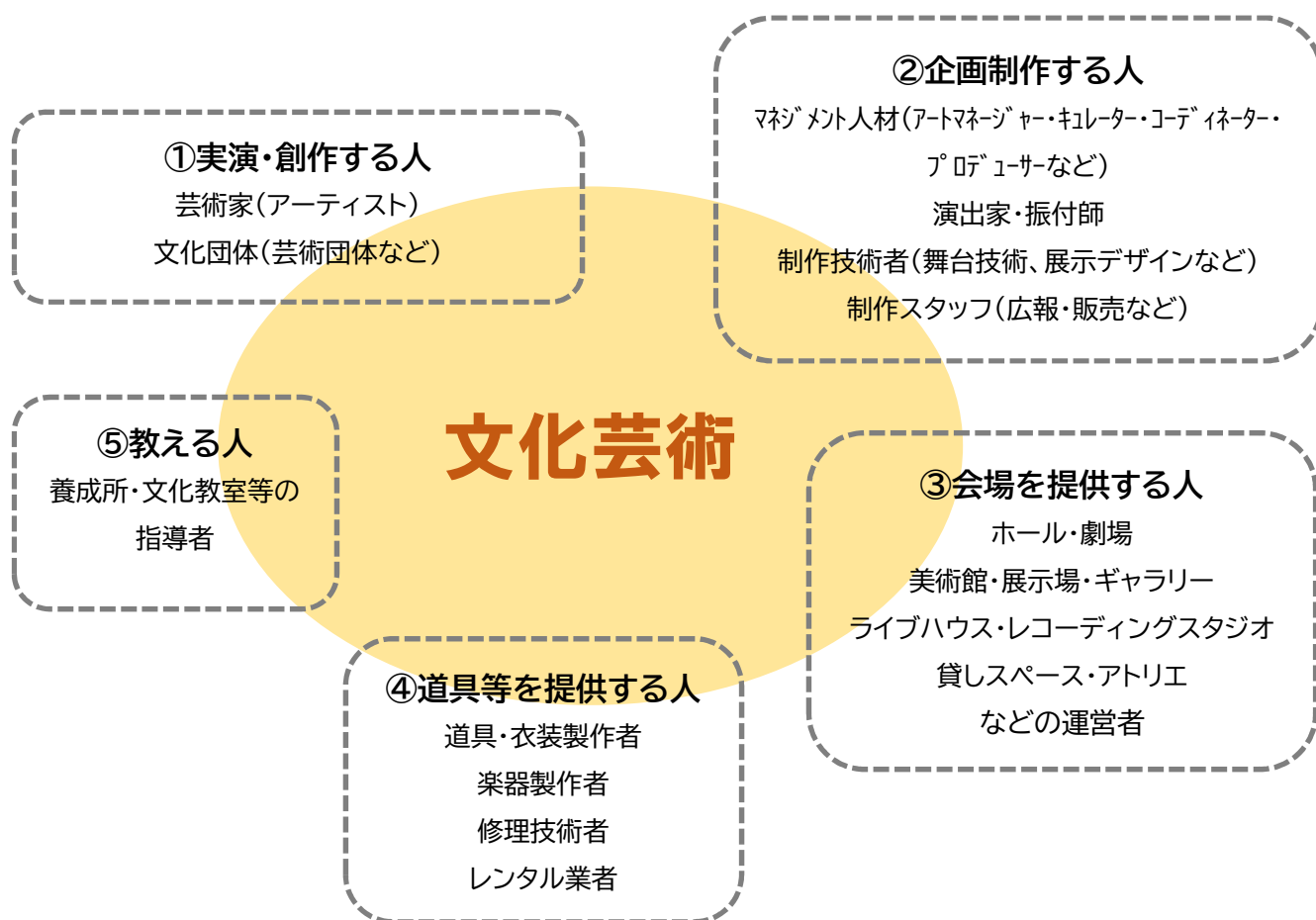
<文化芸術に携わる人のイメージ>



重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

1 趣旨

県では、文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、その基礎情報となる文化芸術関係者の活動実態を適切かつ継続的に把握していきたいと考えている。



2 今後の調査案

前回の文化審議会において、「文化芸術に携わる人」の対象、対象者の把握方法について御議論いただいた。(上図参照)

その中で、①～⑤について、今年度以下のとおり対象者の把握をしていく。

また、対象者の把握とあわせて、活動状況や活動における悩み、将来についてのお考えなどを聴き取り、今後の施策の構築につなげていきたい。

①実演・創作する人

ア 芸術家

国勢調査により県内の芸術家人口を把握(平成 27 年度調査については別紙1参照)

調査時期:令和4年 12 月に公表予定(令和2年度調査分)

イ 文化団体

文化団体へアンケートを実施

調査時期:令和4年8月頃予定

②企画制作する人

対象者とネットワークを持つ団体である県内の主な文化ホール、美術館等へ聴き取りを行う予定

調査時期:令和4年9月頃予定

③会場を提供する人

令和2・3年度に県で実施した補助金の実績等から把握(別紙2参照)

令和4年度補助金からも順次情報を収集する予定

④道具等を提供する人・⑤教える人

対象者とネットワークを持つ、音楽家・美術家・舞踊家・伝統芸能関係者・生活文化関係者・文化財関係者それぞれ1人ずつへ聴き取りを行う予定

次年度以降は3名ずつにするなど、県域を網羅できるようにする予定

調査時期:令和4年9月頃予定

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

背景

新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術家や文化団体、企画制作スタッフ、関係事業者等は活動機会や収入を失うなどの大きな影響を受けた。とりわけ、職業として文化芸術に携わる文化芸術関係者においては、生計の維持が困難になるなど、活動継続（事業継続）にも支障が生じる事態となった。

課題

県では、文化芸術関係者の活動実態を適切に把握できておらず、このことが支援を行う上での課題となった。また、国や他府県においてもコロナ禍で同様の課題が生じている。

目標

文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進める。

調査方法

調査方法A

アンケートを用いた調査・分析

概要：

- ① 文化芸術関係者（個人および団体・事業者）向けに活動実態や課題等を把握するアンケートを行う。
- ② 市町文化協会および県域文化団体向けに活動実態や課題等を把握するアンケートを行う。

詳細：

- ① 全県の文化芸術関係者を対象としたWEBアンケートを実施。アンケートは、県の広報媒体等を通じて広く広報を行う。
- ② 県内57団体に郵送（メール）にてアンケートを実施する。

調査方法B

ヒアリングを用いた調査・分析

概要：

県内の多様な分野の文化芸術関係者に活動実態や課題等を把握するヒアリングを実施。

詳細：

芸術家、プロデューサー、ホール経営者、道具製作者、文化教室の経営者等の文化芸術関係者に活動実態や課題等を把握するヒアリングを実施。

それぞれの方の活動実態や課題等に対応した施策を検討する。



文化芸術関係者の持続的な活動に向けた施策検討につなげる

調査方法A

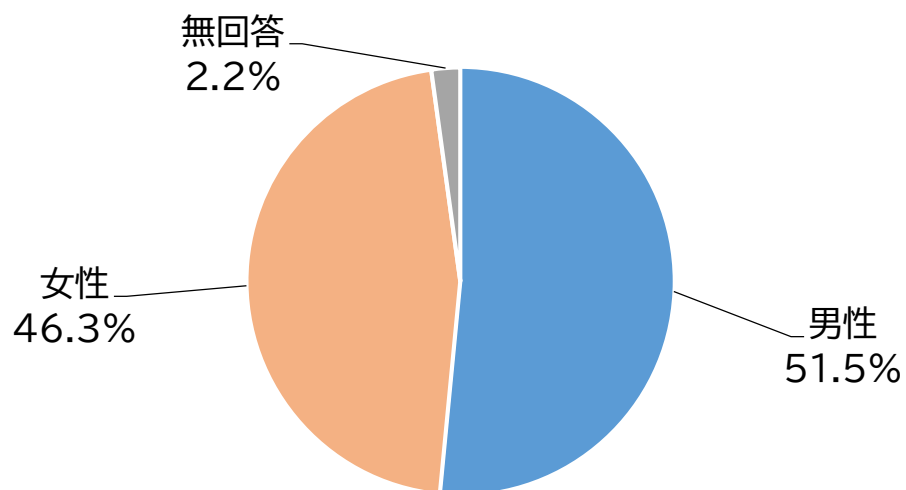
滋賀県文化芸術関係者実態把握アンケート結果について

概 要

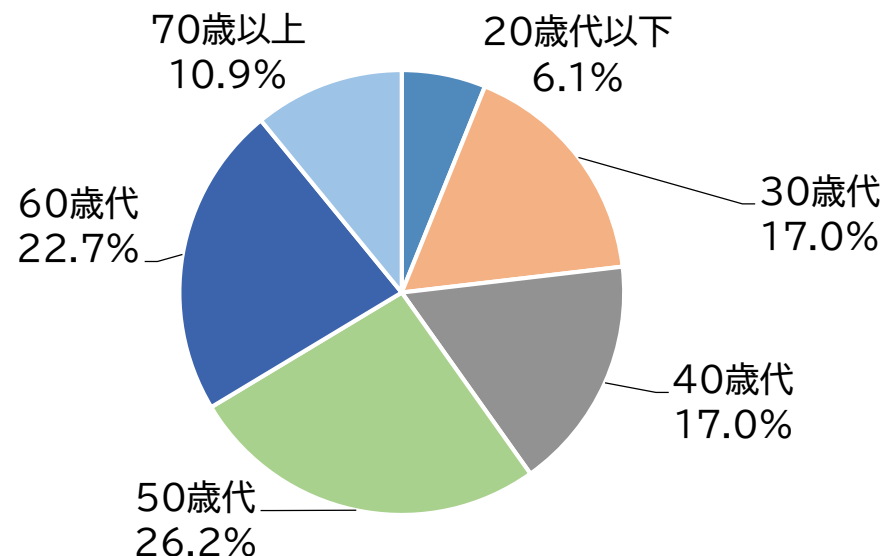
目的	文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、その基礎情報となる文化芸術関係者の活動実態を把握する
対象者	<ul style="list-style-type: none">・ 滋賀県に住所がある文化芸術関係者(個人、団体・事業者)および滋賀県に活動拠点がある文化芸術関係者(個人、団体・事業者)・ 県域文化団体、市町文化協会
調査期間	令和4年10月19日(水)～11月20日(日) 33日間
回答方法	しがネット受付サービスによるインターネット調査 (県域文化団体、市町文化協会については、郵送およびメールで調査)
回答数	個人：229件 団体・事業者：139件 (うち県域文化団体・市町文化協会は57件で、問12～20のみ回答)

【個人用】結果

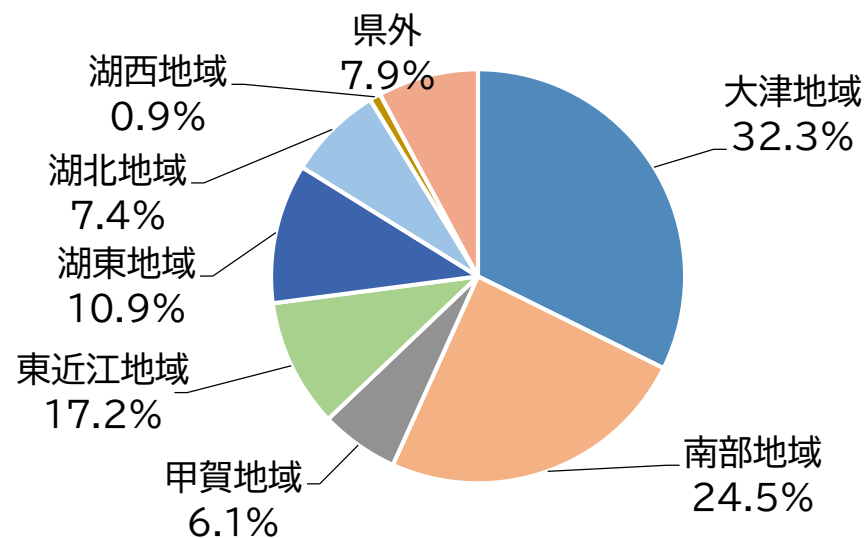
1 あなたの性別を教えてください。(n=229)



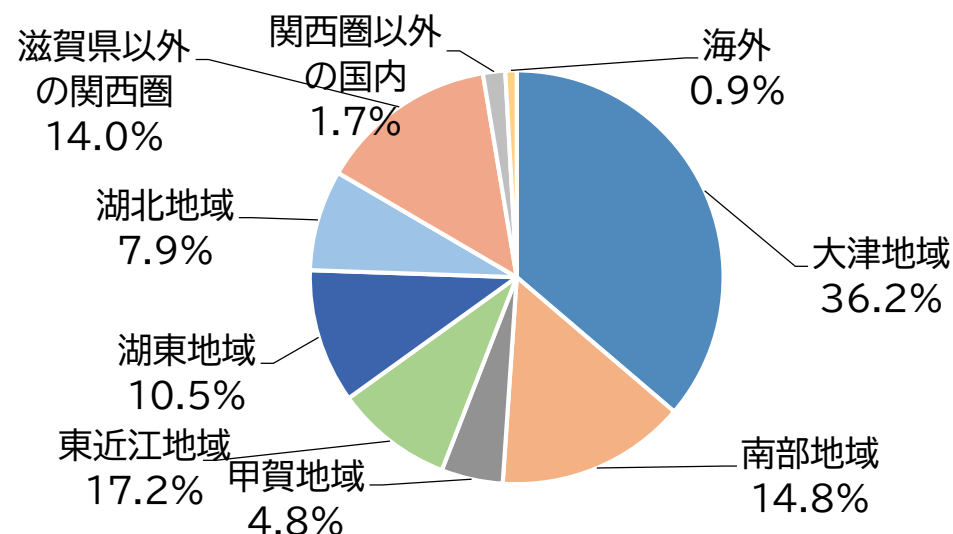
2 あなたの年齢を教えてください。(n=229)



3 あなたが現在お住まいになっている地域を教えてください。(n=229)

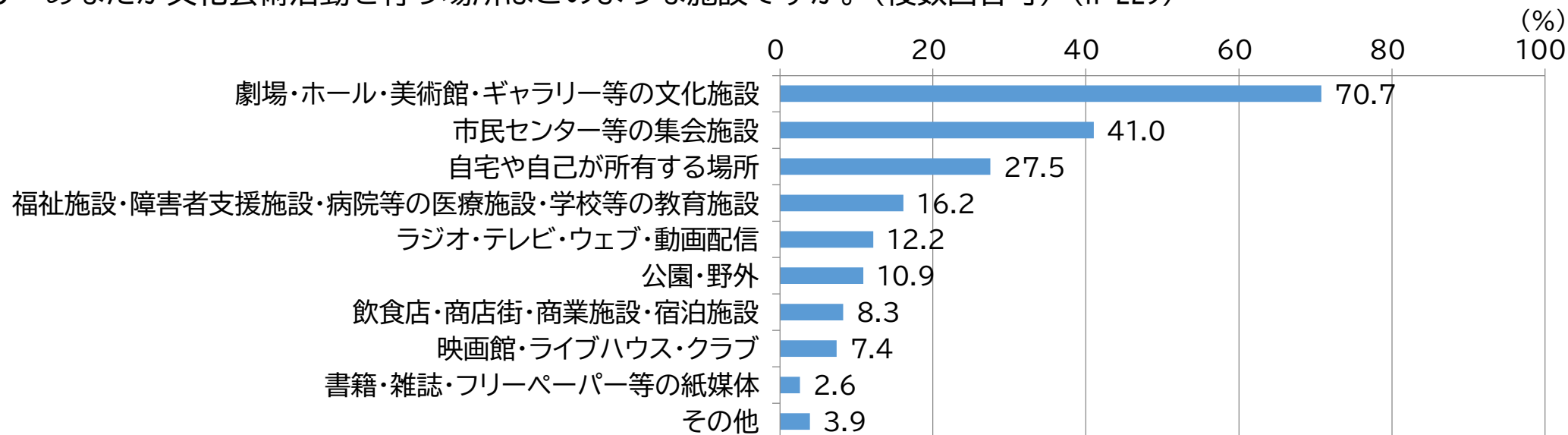


4 あなたの文化芸術活動の拠点地域を教えてください。(n=229)

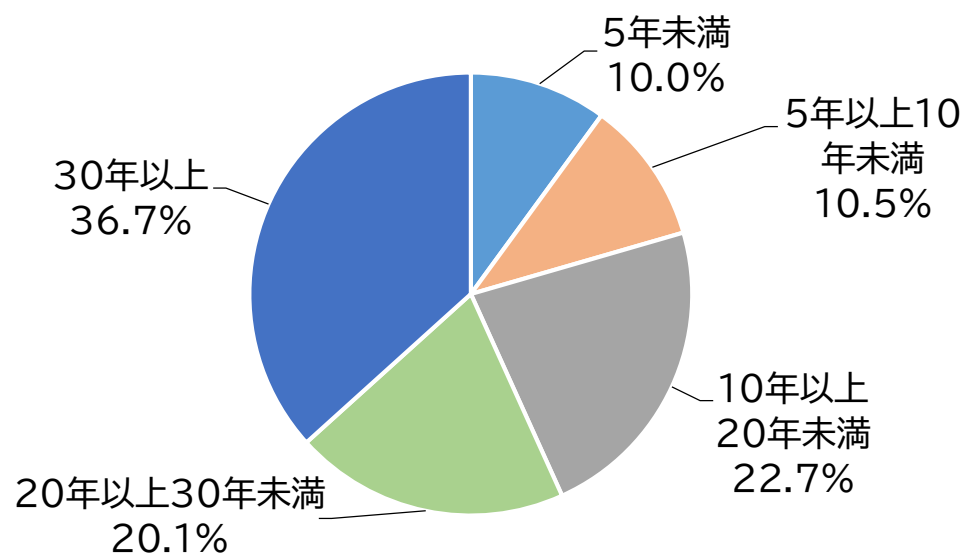


【個人用】結果

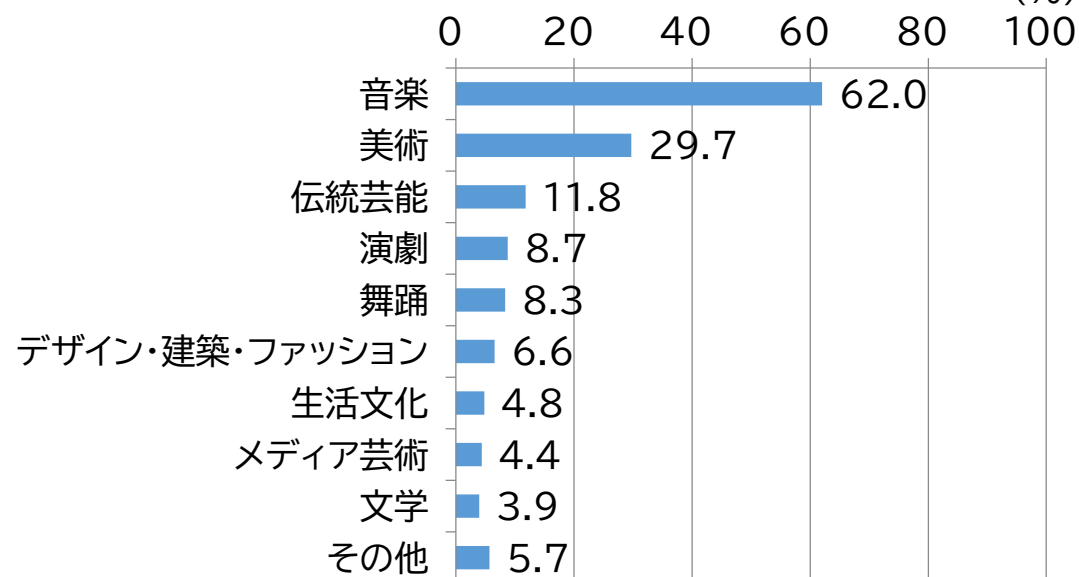
5 あなたが文化芸術活動を行う場所はどのような施設ですか。(複数回答可) (n=229)



6 あなたはどのくらい文化芸術活動をしていますか。(n=229)

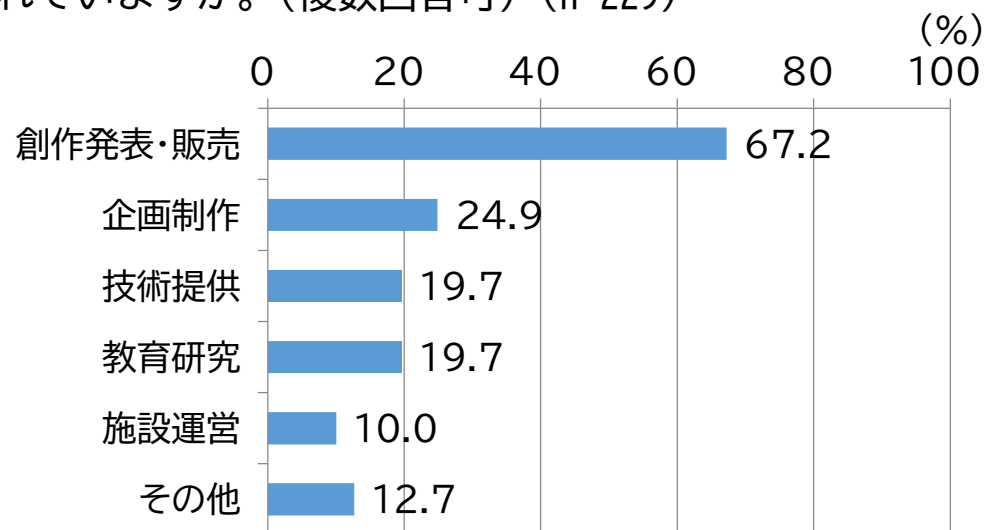


7 あなたの文化芸術活動の分野を教えてください。(複数回答可) (n=229)

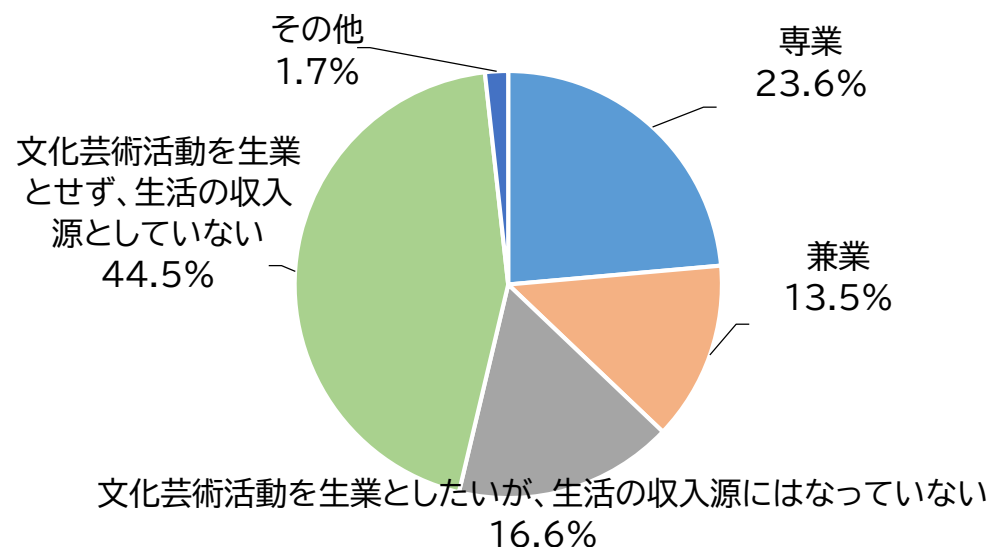


【個人用】結果

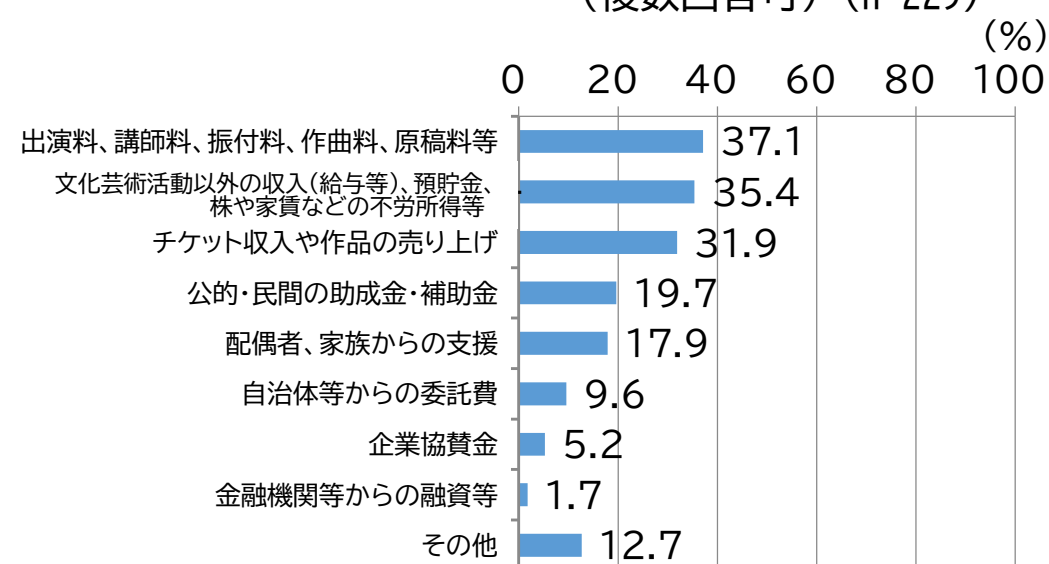
8 あなたは文化芸術活動においてどのような活動をされていますか。(複数回答可) (n=229)



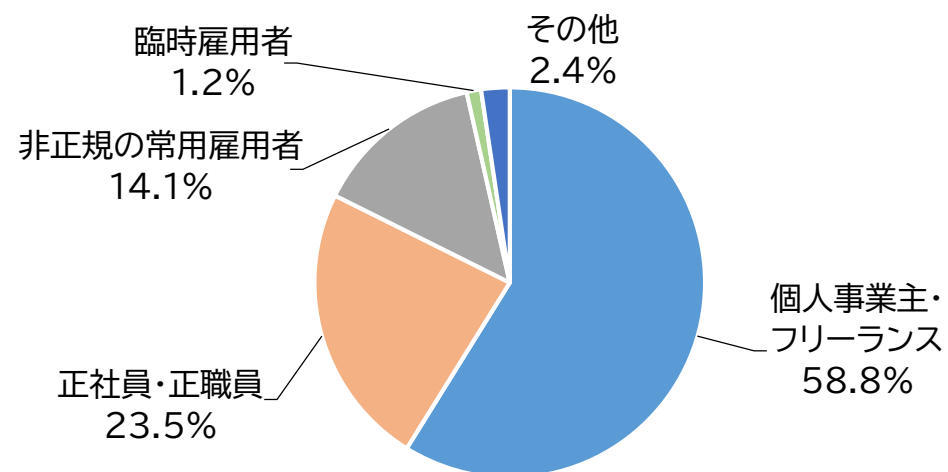
9-1 あなたは文化芸術活動からどの程度収入を得ていますか。(n=229)



10 あなたの文化芸術活動での財源を教えてください。(複数回答可) (n=229)

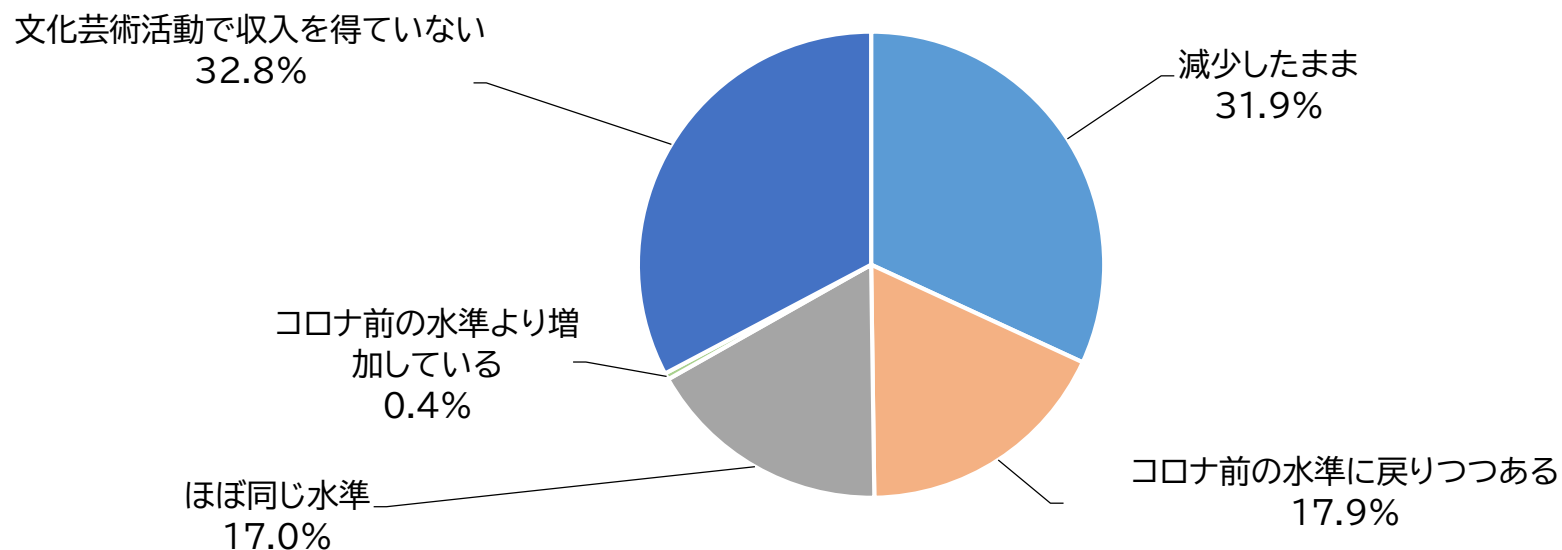


9-2 専業もしくは兼業の方にお伺いします。文化芸術活動における雇用形態を教えてください。(n=85)

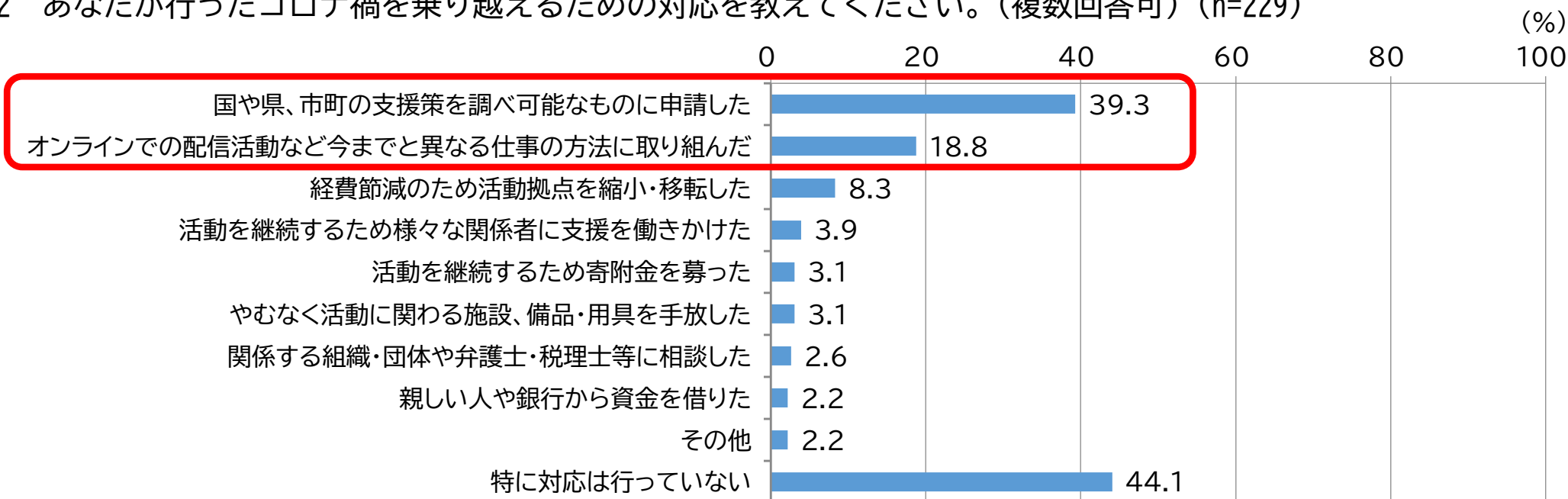


【個人用】 結果

11 コロナ前(令和元年頃)と比較して現在(回答日時点)の文化芸術活動での収入の状況を教えてください。(n=229)

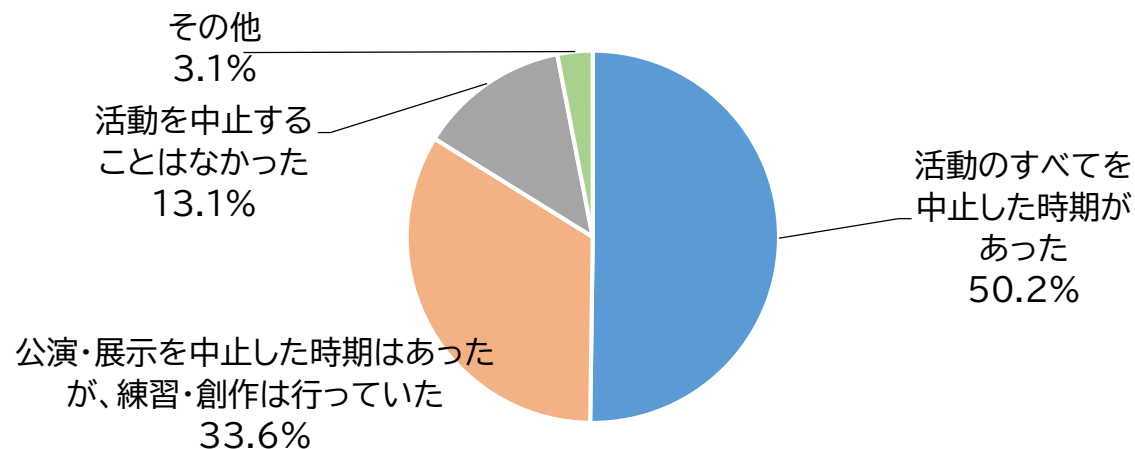


12 あなたが行ったコロナ禍を乗り越えるための対応を教えてください。(複数回答可) (n=229)



【個人用】結果

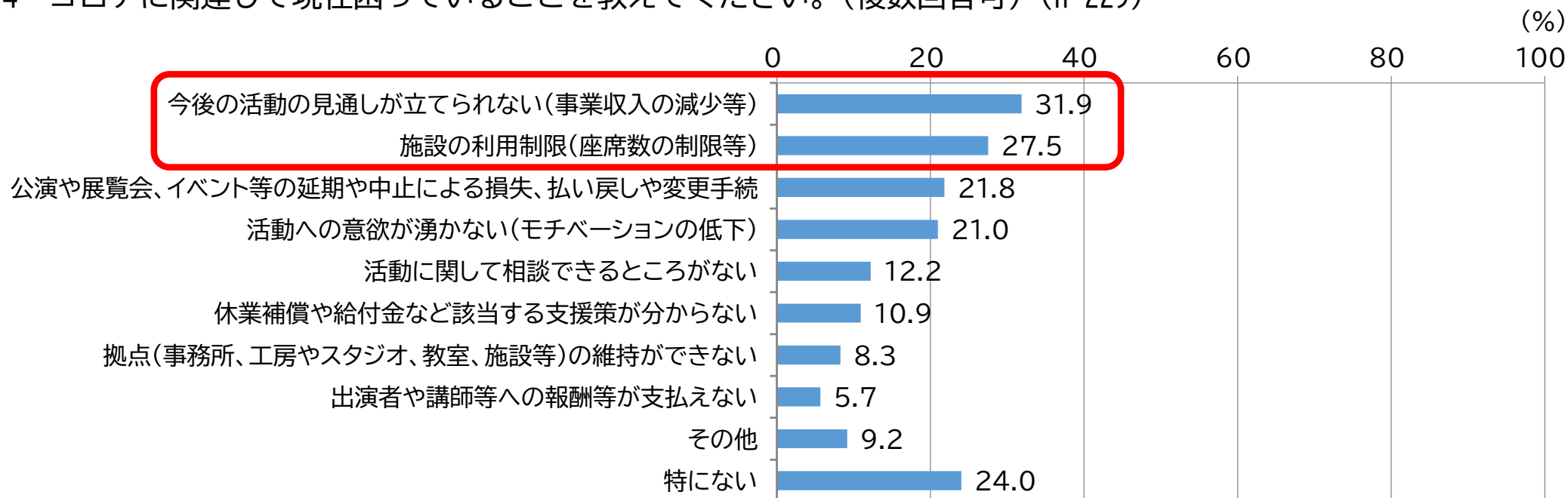
13-1 令和2年2月以降コロナの影響によって、文化芸術活動を中止もしくは自粛した時期はありましたか。(n=229)



13-2 「活動のすべてを中止した時期があった」「公演・展示を中止した時期はあったが、練習・創作は行っていた」と回答した方にお尋ねします。現在(回答日時点)まで合計でどのくらいの期間、文化芸術活動を中止もしくは自粛しましたか。

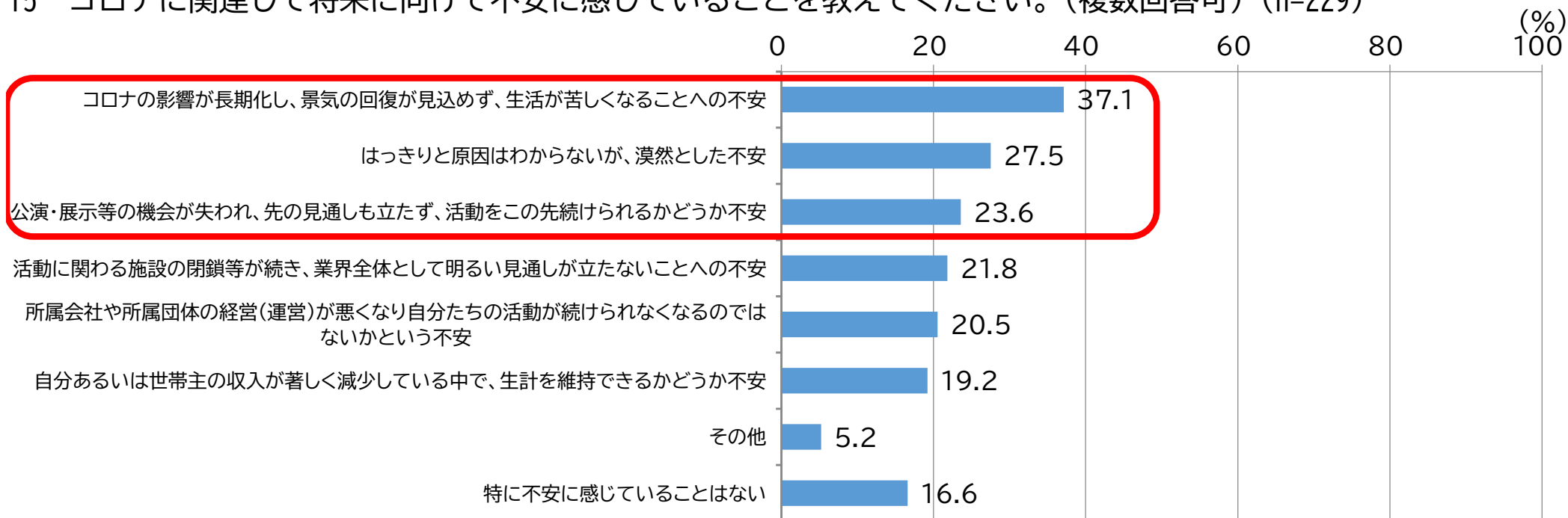
平均 11.5 か月

14 コロナに関連して現在困っていることを教えてください。(複数回答可) (n=229)

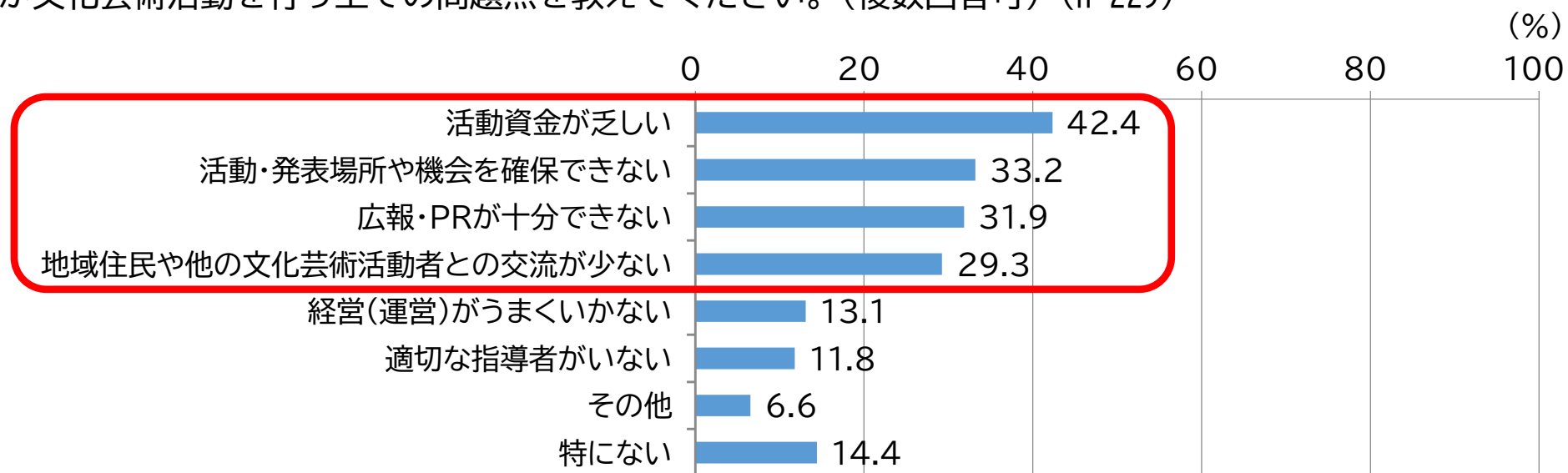


【個人用】 結果

15 コロナに関連して将来に向けて不安に感じていることを教えてください。(複数回答可) (n=229)

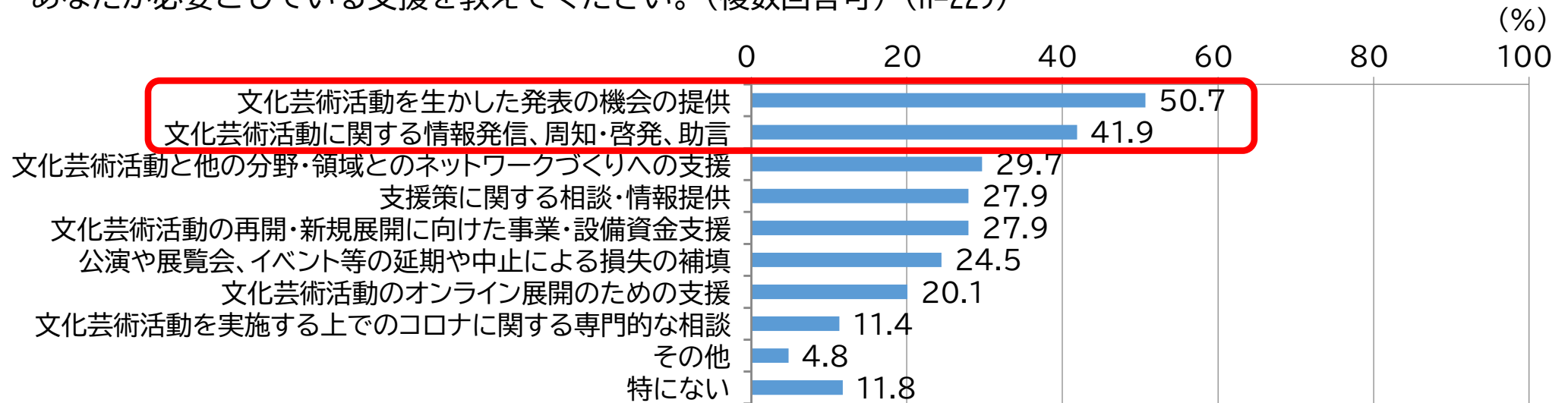


16 あなたが文化芸術活動を行う上での問題点を教えてください。(複数回答可) (n=229)



【個人用】結果

17 あなたが必要としている支援を教えてください。(複数回答可) (n=229)



18 あなたは滋賀県が令和2年度から行っているコロナ禍における活動支援補助金を申請しましたか。
(複数回答可) (n=229)

事業名		個人		団体・事業者		(参考) 交付者数 (件)	(参考) 交付金額 (千円)
		回答件数	割合(%)	回答件数	割合(%)		
令和4年度	文化芸術活動継続支援事業 (1/31時点)	29	12.7	37	26.6	411	19,699
令和3年度	未来へつなぐ しが文化活動応援事業	25	10.9	20	14.4	226	35,266
	文化芸術公演支援事業	22	9.6	26	18.7	291	20,199
令和2年度	未来へつなぐ しが文化活動応援事業	16	7.0	20	14.4	223	34,100
	文化芸術公演支援事業	12	5.2	16	11.5	123	8,566

- 19 その他、滋賀県の文化芸術の振興について、御意見などがありましたらお聞かせください。
(任意、自由記述、抜粋)

<情報について>

- ・ 色々な情報が得にくく感じます。支援策や補助金などの情報提供をもっとしてほしいです。WEBで今月のイベントを紹介してほしいです。
- ・ 文化芸術活動で利用できる施設のデータベース化。琵琶湖があるためか他市町の施設の情報が手に入りにくい。公共ホールだけでなくNPO法人が管理する施設を含めて比較検討できる一覧があると便利。

<文化芸術に触れる機会の提供>

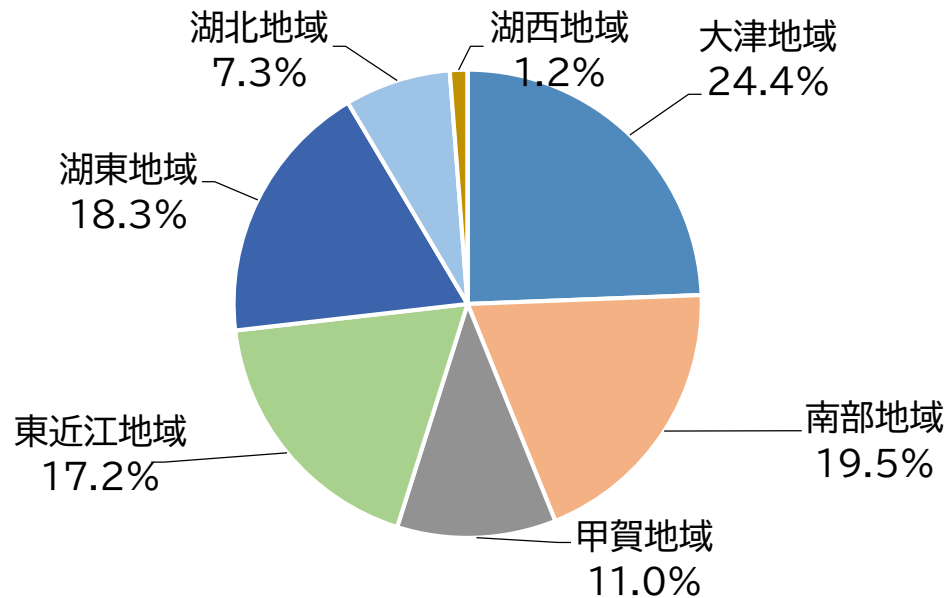
- ・ まずは文化芸術に親しむ人が増えることが大切。ワークショップを地道に重ねてすそのを拡げていくのも大事。観光とリンクして県外からのお客様を呼び込むのも大事だと思う。
- ・ 様々な分野で、地元のアーティストを大切にしてほしい。地元のアーティストたちの実力を軽視せず、できる限り地産地消できるとよいのではないかな。滋賀は広いので、アーティスト同士の繋がりがもっと持てたら良いと思う。各地域のホールが活性化し、県民が本格的な文化活動に、より親しめる環境作りが必要。

<補助金について>

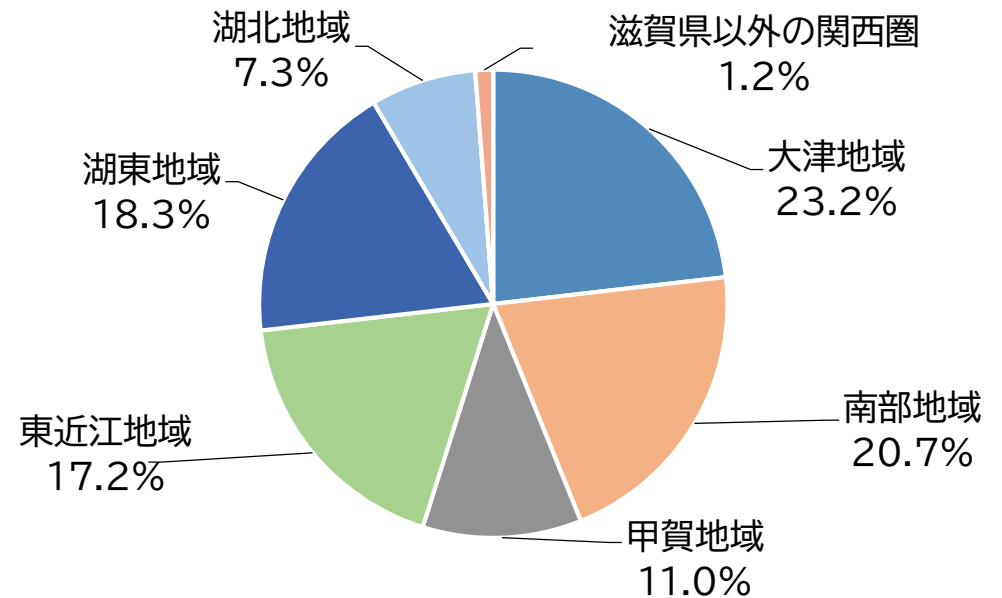
- ・ 滋賀県の田舎の方は閉鎖的な地域も多く、感染対策について不安が残ると言われたことがあります。感染対策のために客席を間引くのであればその分ホール代を半分にさせていただくとか、施設面で何かしらの金銭的補助があると助かります。またYouTubeなどの活動も増えてきていますがなるべく良い機材を使いたいののでレンタルや資金援助などがあるととても助かります。
- ・ 税理士さんや商工会議所に何か使える補助金はないかとコロナ禍に相談したのですが、補助金の案内はありませんでした。そういった情報をみんなに届くよう、わかりやすく発信していただけるとありがたいです。

【団体・事業者用】結果

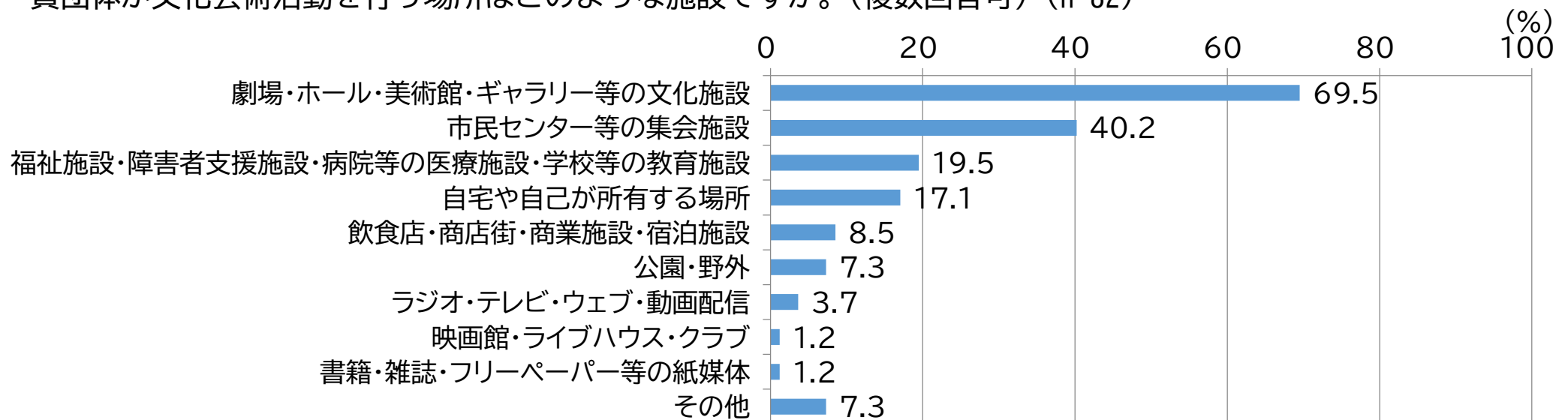
1 貴団体の所在地を教えてください。(n=82)



2 貴団体の文化芸術活動の拠点地域を教えてください。(n=82)

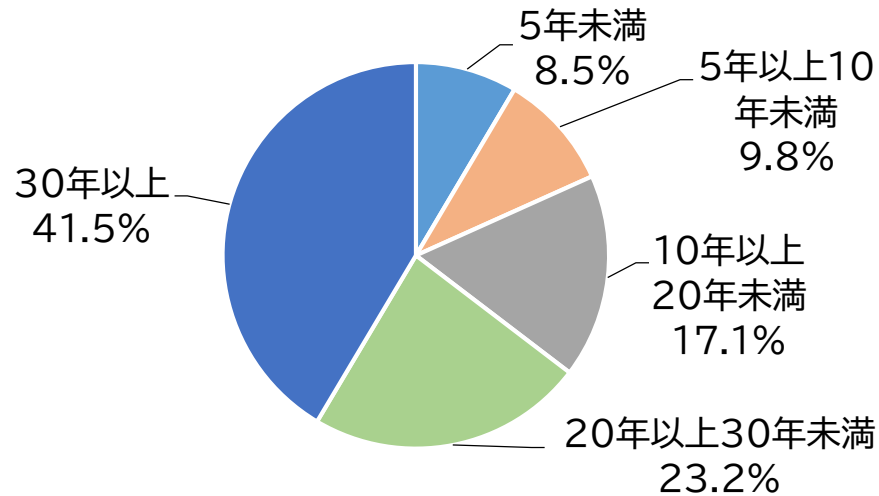


3 貴団体が文化芸術活動を行う場所はどのような施設ですか。(複数回答可) (n=82)

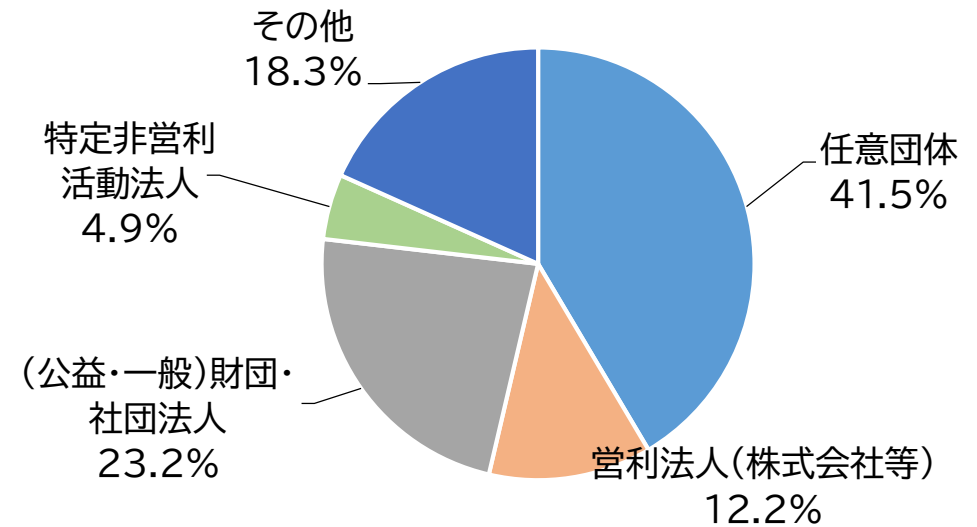


【団体・事業者用】結果

4 貴団体が活動を開始してからの年数を教えてください。(n=82)

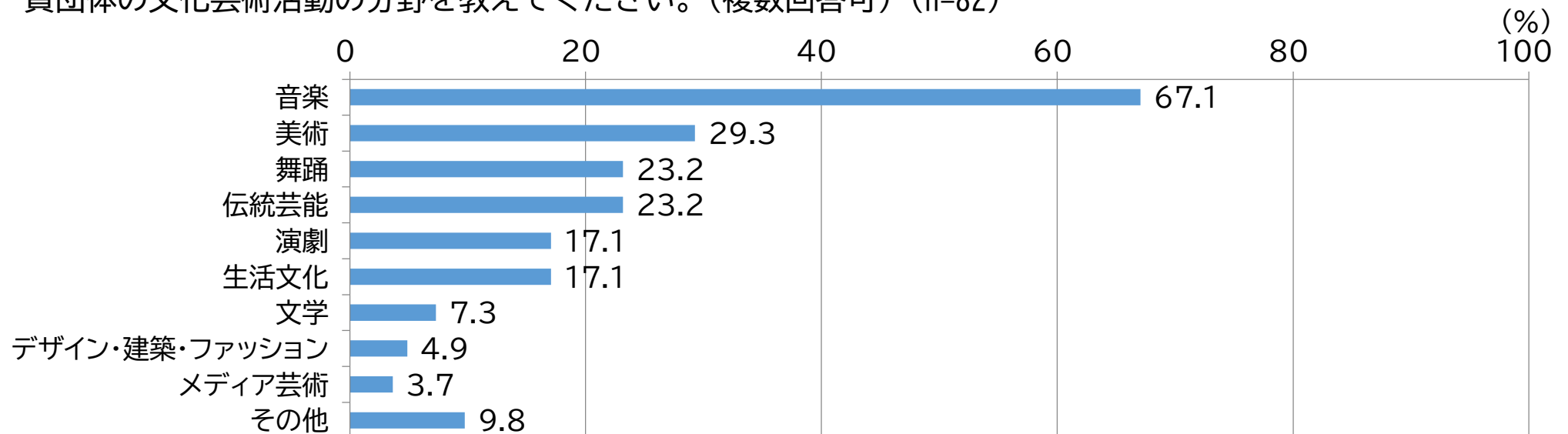


5 貴団体の運営形態を教えてください。(n=82)



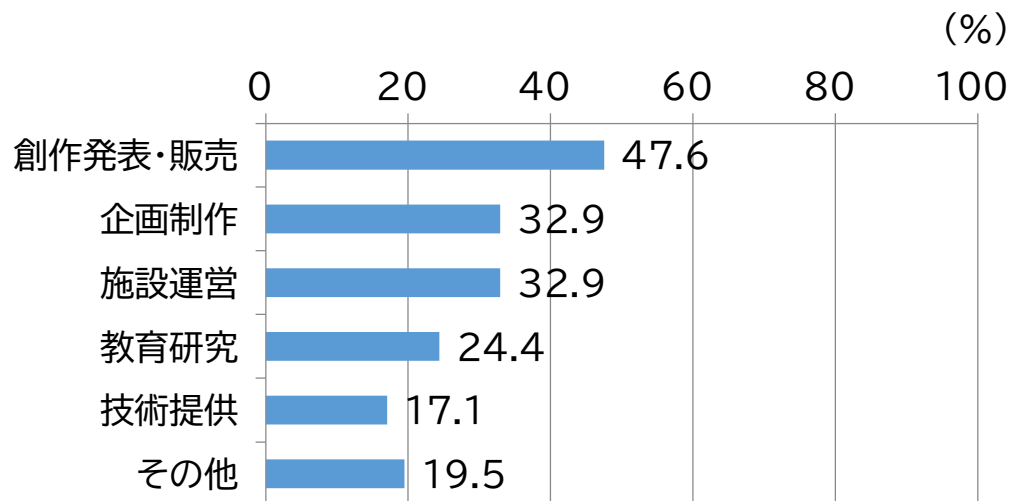
6 貴団体の所属人数を教えてください。 平均 87.1 人

7 貴団体の文化芸術活動の分野を教えてください。(複数回答可) (n=82)

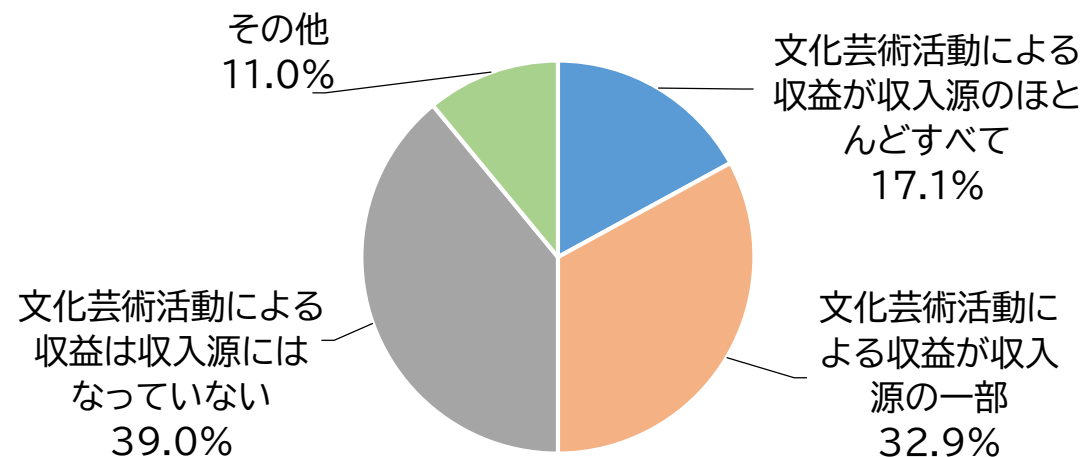


【団体・事業者用】結果

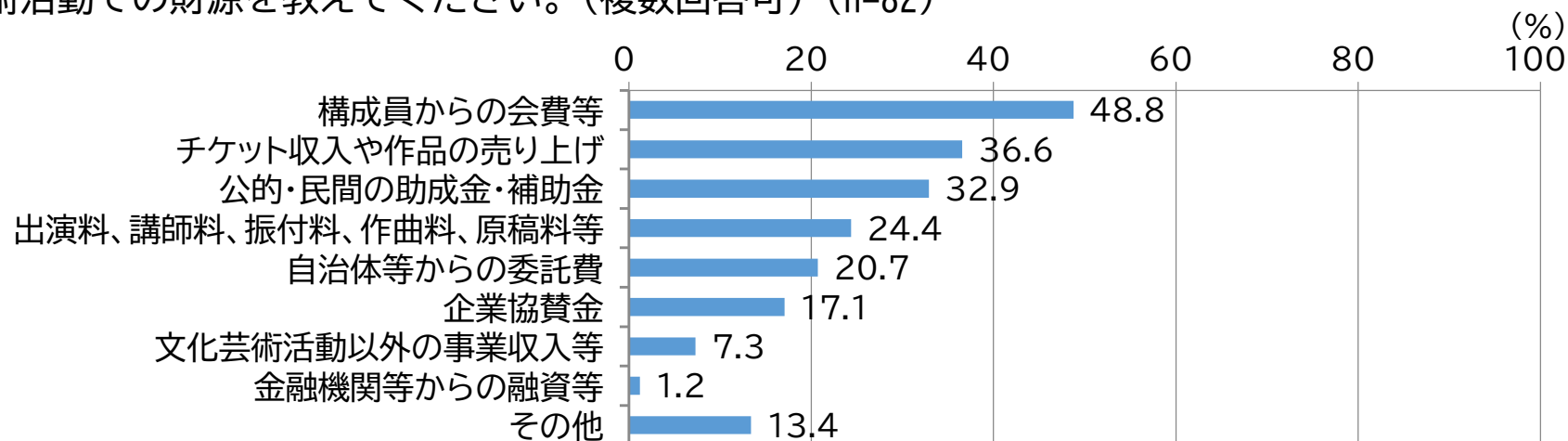
8 貴団体は文化芸術活動においてどのような活動をされていますか。(複数回答可) (n=82)



9 貴団体の文化芸術活動による収入の程度を教えてください。(n=82)



10 貴団体の文化芸術活動での財源を教えてください。(複数回答可) (n=82)

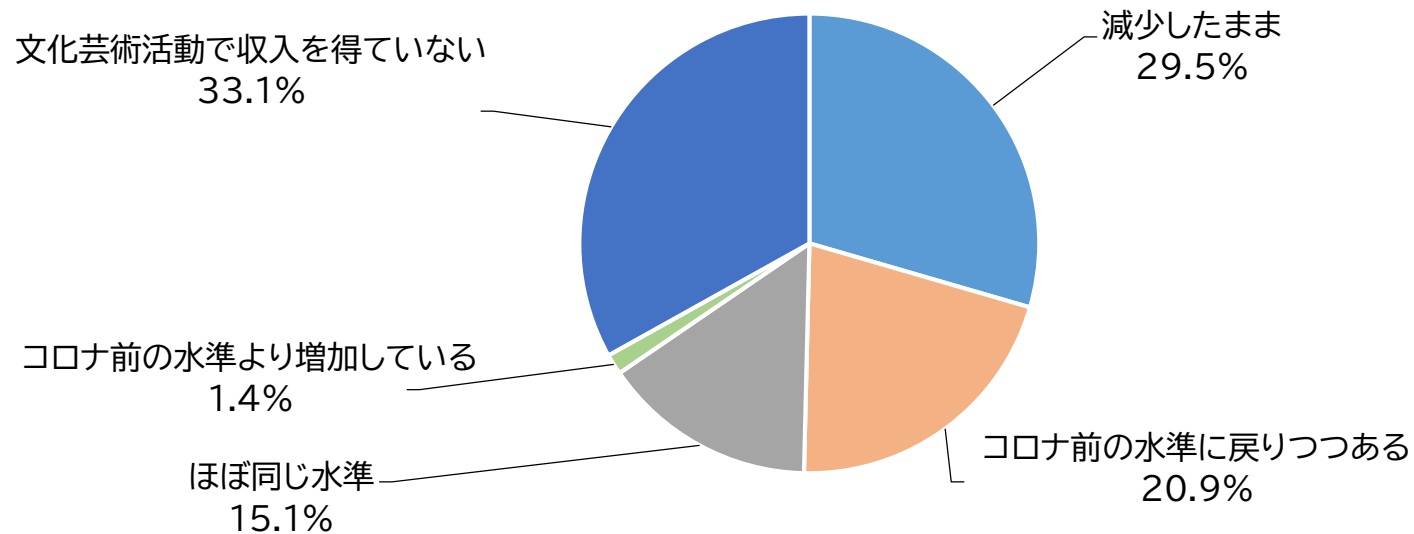


11 貴団体の1年間の収入規模を教えてください。 平均 5,034.7 万円

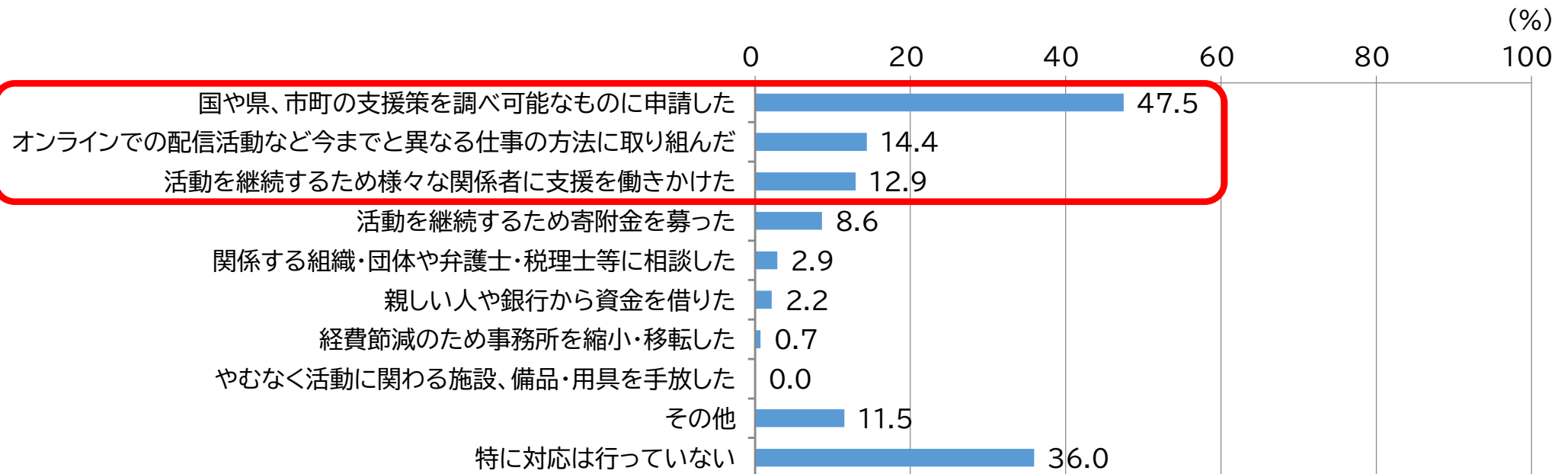
※ 「(公益・一般)財団・社団法人」を除くと 平均 801.5万円

【団体・事業者用】結果

12 コロナ前(令和元年頃)と比較して現在(回答日時点)の文化芸術活動での収入の状況を教えてください。(n=139)

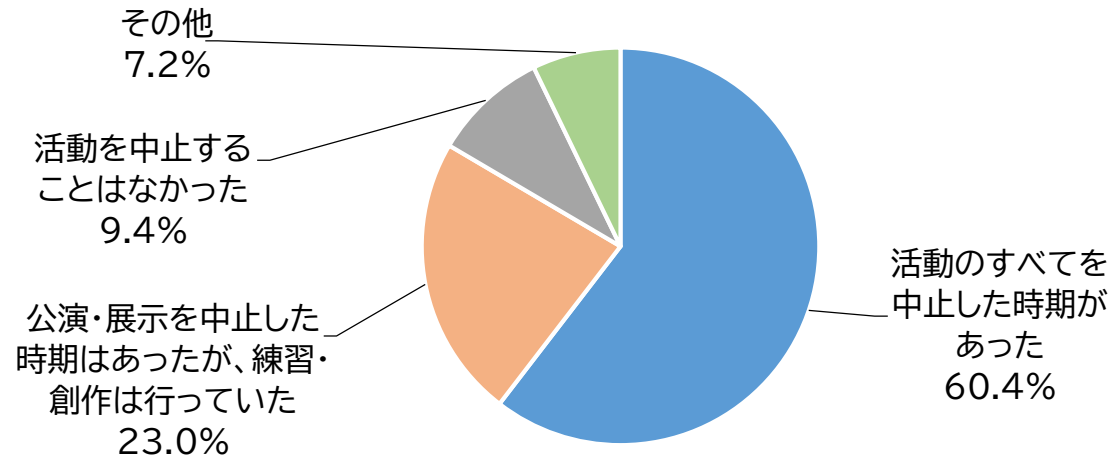


13 貴団体が行ったコロナ禍を乗り越えるための対応を教えてください。(複数回答可) (n=139)



【団体・事業者用】結果

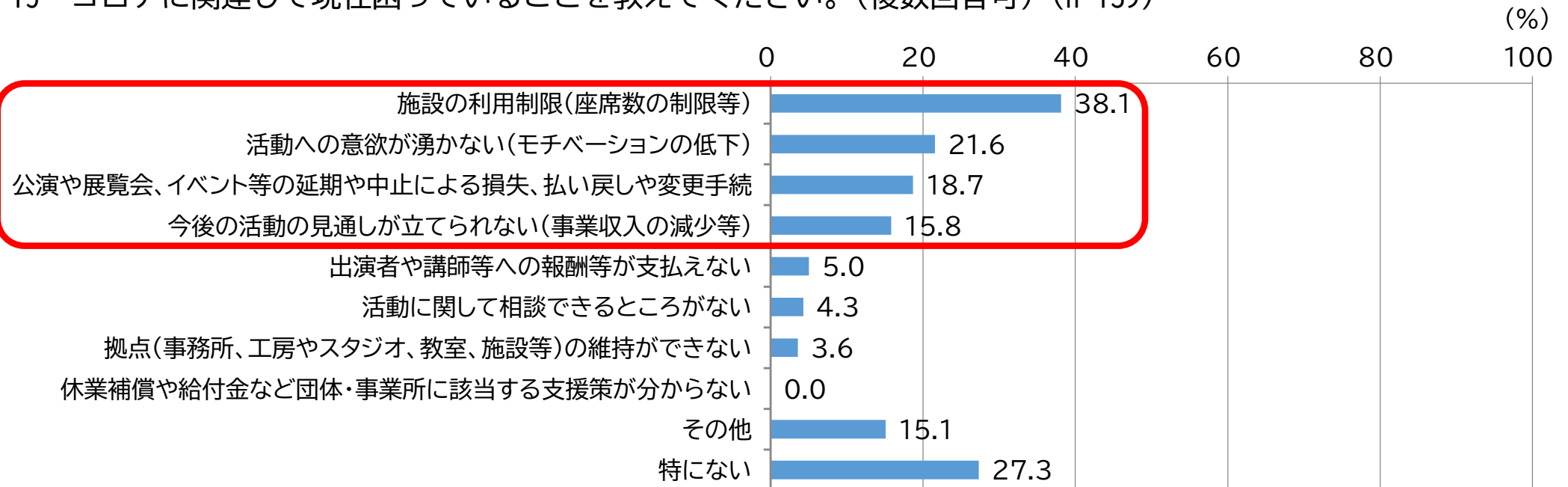
14-1 令和2年2月以降コロナの影響によって、文化芸術活動を中止もしくは縮小した時期はありましたか。(n=139)



14-2 「活動のすべてを中止した時期があった」「公演・展示を中止した時期はあったが、練習・創作は行っていた」と回答した方にお尋ねします。現在(回答日時点)まで合計でどのくらいの期間、文化芸術活動を中止もしくは縮小しましたか。

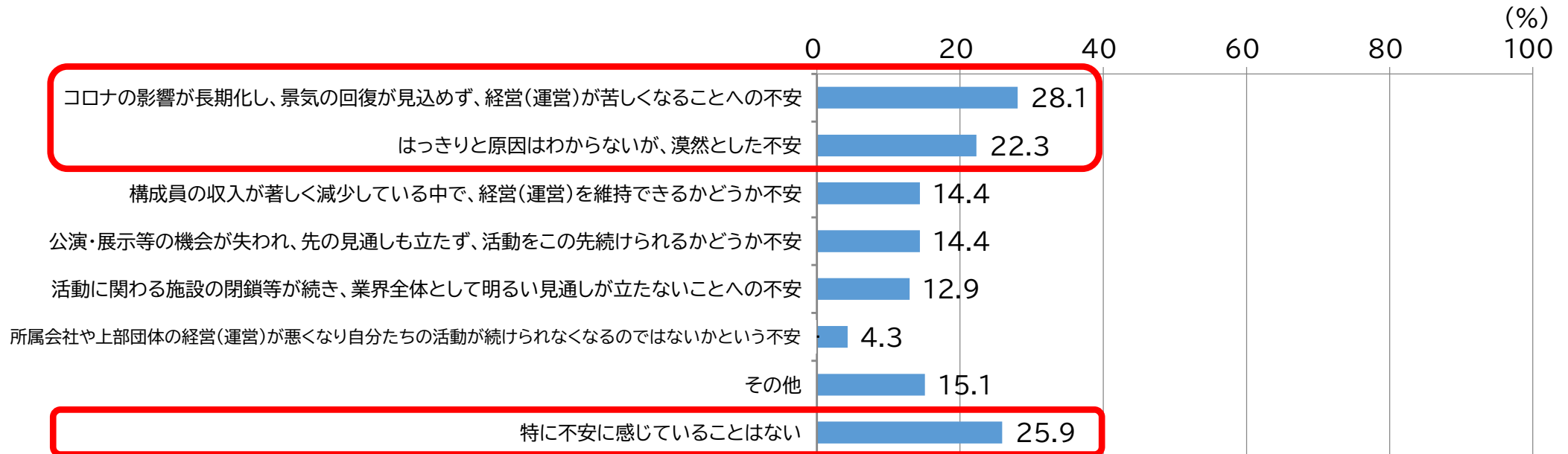
平均 10.2 か月

15 コロナに関連して現在困っていることを教えてください。(複数回答可) (n=139)

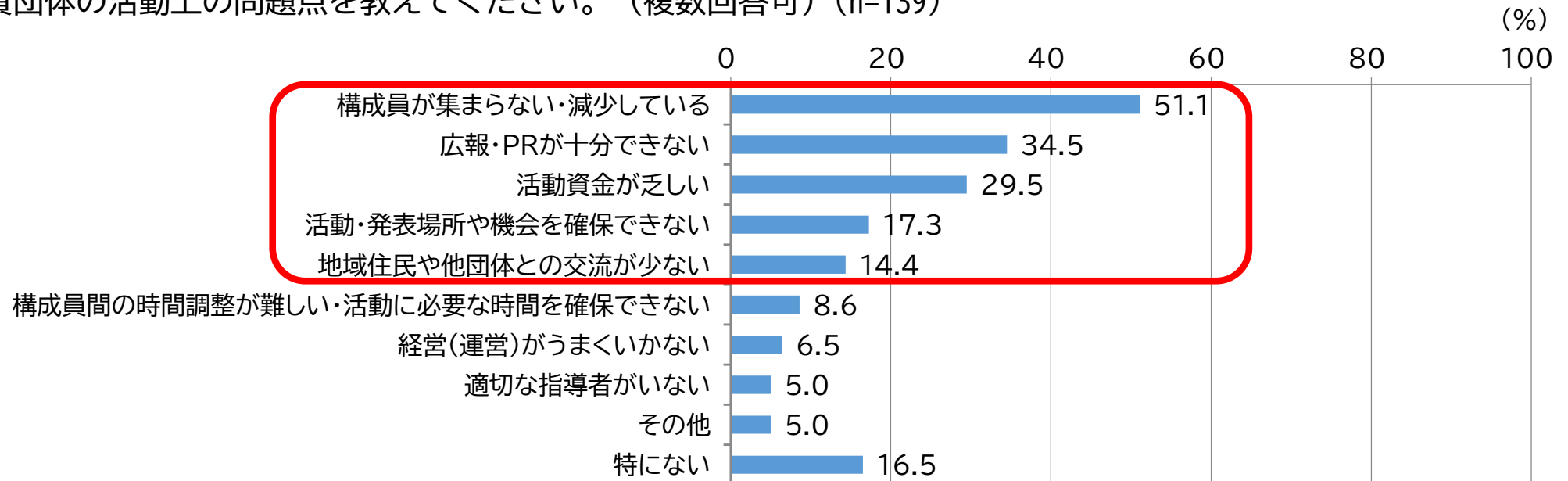


【団体・事業者用】結果

16 コロナに関連して将来に向けて不安に感じていることを教えてください。（複数回答可）（n=139）

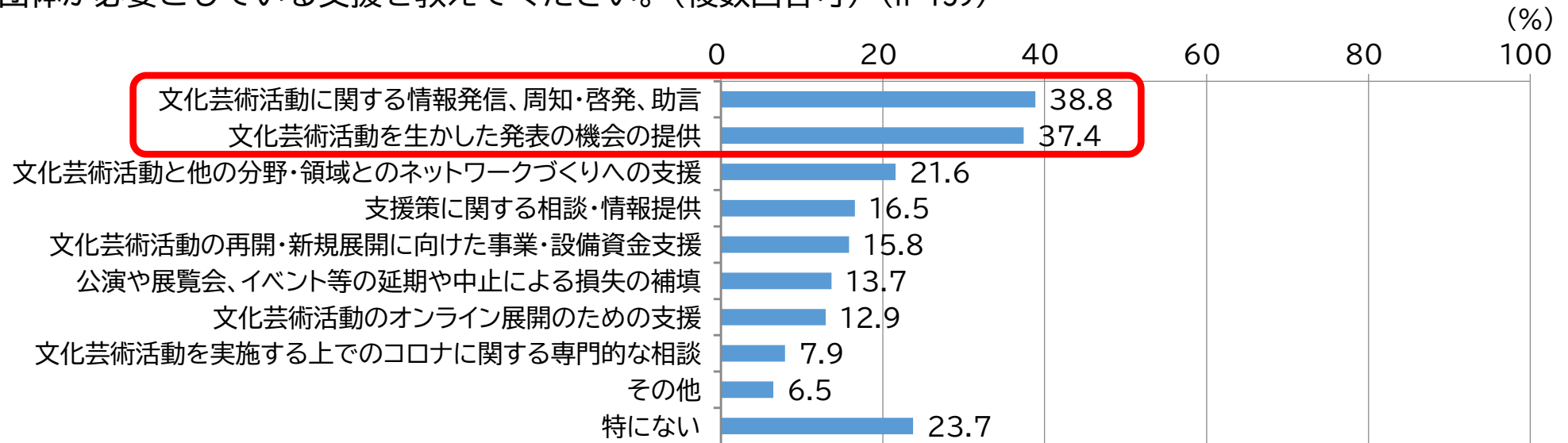


17 貴団体の活動上の問題点を教えてください。（複数回答可）（n=139）



【団体・事業者用】結果

18 貴団体が必要としている支援を教えてください。(複数回答可) (n=139)



19 貴団体は滋賀県が令和2年度から行っているコロナ禍における活動支援補助金を申請しましたか。(複数回答可) (n=139) (再掲)

事業名		個人		団体・事業者		(参考) 交付者数 (件)	(参考) 交付金額 (千円)
		回答件数	割合(%)	回答件数	割合(%)		
令和4年度	文化芸術活動継続支援事業 (1/31時点)	29	12.7	37	26.6	411	19,699
令和3年度	未来へつなぐ しが文化活動応援事業	25	10.9	20	14.4	226	35,266
	文化芸術公演支援事業	22	9.6	26	18.7	291	20,199
令和2年度	未来へつなぐ しが文化活動応援事業	16	7.0	20	14.4	223	34,100
	文化芸術公演支援事業	12	5.2	16	11.5	123	8,566

- 20 その他、滋賀県の文化芸術の振興について、御意見などがありましたらお聞かせください。
(任意、自由記述、抜粋)

<情報について>

- ・ 地域の地道な文化芸術活動をもっとメディアで取り上げていただき、紹介して下さるような働きかけを県が主導して行っていただけるようなことがあれば、何よりありがたい支援となります。
- ・ 各地域で行われるクラブ等による発表会の情報発信ができる、固定された場所の提供(Web上や情報誌面の確保など)がほしい。

<交流の機会について>

- ・ ジャンルを越えた交流の機会があればと常々思っています。他の文化芸術活動団体との交流機会、情報交換手段がないので各文化団体との交流や情報共有の場を設定して欲しい。(演劇分野)
- ・ プロアマを問わない文化交流が出来る機会がもっとあればと思います。観客数や実績にとらわれない発表の場所が定期的で開催されるような小規模なフェスなどに期待します。情報交換や提供などが自由にできる機会もあれば良いです。(美術分野)

<補助金について>

- ・ 助成金があることは、活動を継続するために必要な資金の確保につながるだけでなく、コロナ禍でいかに活動を続けていくかを考えることへの励みになり、心理的にも大きな支えになった。

<会員の獲得について>

- ・ 協会を脱会する団体がある一方、新規に加入する団体がないため、「どのようにすれば、加盟団体の設立を推進できるか？」で悩んでいる。

滋賀県文化芸術関係者実態把握ヒアリング結果について

概 要

目的	文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、その基礎情報となる文化芸術関係者の活動実態を把握する
対象者	画家、音楽家、能楽師、茶道家、プロデューサー、ホール経営者、道具製作者、教室経営者 計8名
調査時期	令和4年11月8日(火)～11月29日(火)
調査方法	対面
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・活動状況について・収入の状況について・新型コロナウイルス感染症による文化芸術活動への影響について・県内の文化施設や県の文化振興施策に求めるものについて 等

文化芸術に携わる人のイメージ(今回のヒアリング対象者)

- ①…4人(画家、音楽家、能楽師、茶道家)
- ②…1人(プロデューサー)
- ③…1人(ホール経営者)
- ④…1人(道具製作者)
- ⑤…1人(教室経営者)

①実演・創作する人
芸術家(アーティスト)
文化団体(芸術団体など)

②企画制作する人
マネジメント人材(アートマネージャー・キュレーター・コーディネーター・
プロデューサーなど)
演出家・振付師
制作技術者(舞台技術、展示デザインなど)
制作スタッフ(広報・販売など)

⑤教える人
養成所・文化教室等の
指導者

文化芸術

④道具等を提供する人
道具・衣装製作者
楽器製作者
修理技術者
レンタル業者

③会場を提供する人
ホール・劇場
美術館・展示場・ギャラリー
ライブハウス・レコーディングスタジオ
貸しスペース・アトリエ
などの運営者

①-1実演・創作する人(画家)

活動の状況

- ・ 若い時は、金銭的に苦しいため、共同スタジオで住み込みながら制作しつつ、大学で非常勤講師として働いた。
- ・ 現在は、共同スタジオから出て、自宅兼アトリエで作家をしながら大学の専任講師として働いている。
- ・ 国内の美術館に収蔵されたり、海外での展示もできるようになった。

収入の状況

- ・ 美術館で展示をしても絵が売れるわけではない。
- ・ ギャラリーで展示をして絵が売れても半分がギャラリーの取り分になることもある。
- ・ 1人でもコレクターがついてくれるとずっと買ってくれるのでありがたい。
- ・ 画家だけで収入を得ている人は少ない。ほとんどの人は、教員と兼業している。

コロナの影響

- ・ アートフェアや展覧会が中止・延期になったが、最近は復活している傾向にある。
- ・ 昔は飲食の場があって、人脈を形成する機会だったが、現在もできていない。

求めるもの

- ・ 広報を支援してほしい。公募展等の作品の募集情報も一括で教えてもらえるとありがたい。
- ・ 本県には、展覧会の機会(発表する場)や制作スタジオ(制作する場)が少ない。京都では、廃校を活用して発表場所と制作場所として無料で貸し出している。

①-2実演・創作する人(音楽家)

活動の状況

- ・ 海外の大学院の修士課程でピアノを学んでいる。
- ・ 日本には年4回程度帰ってきてコンサートを行っている。
- ・ コンサートは地元の滋賀県のホールから声をかけてもらい、演奏することが多い。

収入の状況

- ・ コンサートが多い人は演奏活動だけで生活できる。
- ・ ピアニスト以外の楽器の人は、オーケストラに所属して給料をもらうことができるが、ピアニストはそれがないので、教室を開いたり、教員と兼業している人が多い。
- ・ ピアニストは、コンクールに出て有名になり、マネジメント会社や事務所に所属することもある。

コロナの影響

- ・ コンクールが相次いで中止・延期となり、直近のコンクールが3年振りだった。
- ・ 自分自身は、演奏も学校もない日々が続いたことで、無力さを知ったが、オンラインでコンサートの配信をして、音楽で元気が出たという声を聞くことができ、音楽にもできることがあることを知った。
- ・ オンラインだとみんなが聞きやすいという強みがあることを知った。

求めるもの

- ・ 集客する上で、どういうメディアでどう宣伝していけば良いか分からないので教えてほしい。
- ・ 本県は、高校に入る時点で音楽をあきらめる人が多く、教育の環境が整っていない。
- ・ 県立石山高校に音楽科があるので、良い先生を呼んだり、プロから技術を身近に学べる場や気軽に演奏できる場がほしい。

①-3実演・創作する人(能楽師)

活動の状況

- ・ 能楽師の団体に所属し、定例公演を行ったり、自宅や学校で子どもや高齢者向けの教室を行っている。
- ・ 祖父が趣味で始めたことがきっかけで、父と自分で親子3代で行っている。伝統芸能分野によくある世襲制ではない。

収入の状況

- ・ 出演料だけでなく、文化庁の委託事業公演や他の演者の発表会の手伝い、教室の月謝等で生計を立てている。
- ・ 教室は現在は20名程が在籍しており、月に2回ほど稽古を行っている。
- ・ 公演は月に5回程度、年に60回程度行っている。

コロナの影響

- ・ 公演は2020年5月までは止まっていたが、6月からは行っている。マスクをしながら公演をしたこともある。
- ・ 今は客席の収容率も100%に戻して公演を行っている。
- ・ 3年ぶりに能の体験教室も行うことができるので、少しずつ活動は再開している。

求めるもの

- ・ チケットが売れないので、広報に協力してほしい。
- ・ 学校でも先生が知らないことが多い。先生対象に学びの機会が増えたら良い。直接子どもたちに伝統芸能を届ける、ということもあるが、まずは先生に知ってほしい。
- ・ 外国人にも来てもらいたい。実際に足を運んで、日本にもこういうものがあると知ってもらいたい。

①-4実演・創作する人(茶道家)

活動の状況

- ・ 家元の秘書業務やお茶会の準備・運営等を行っている。
- ・ お茶会は、教室を開いている先生のためのお茶会や富裕層向けのお茶会などがあり、週に1～2回ほど開催している。
- ・ 現在はまだ修業の身で修業し始めて5年目。だいたい7～10年くらいで1人前になる予定。

収入の状況

- ・ 現在は修業の身であるため、収入はない。
- ・ 流派によっては、週休2日制や給料制など就労の体制が整っているところもある。

コロナの影響

- ・ コロナ発生後半年間は全く活動していない。国の助成金等を活用したり、貯金を切り崩す人もいた。
- ・ 人が集まり、飲食を必ず行う文化活動なので、余計に対応が難しい。
- ・ 最近はお茶会の中止や延期はしていないが、人数制限を設けているので、その面では、コロナ以前の水準には戻っていない。

求めるもの

- ・ 行政が情報を一元化できるデータベースを作り、情報を集められるようにすると良い。
- ・ 個人の判断でコロナ対策をしていたので、主催者側も来場者側も不安だった。普段から行政との相談等ができる関係があれば良かった。
- ・ 美術館や博物館等特別な場所でのお茶会の企画があれば、特別感が出て良いのではないかな。

②企画制作する人(プロデューサー)

活動の状況

- ・ 地元のホールを借りて、地元ゆかりのアーティスト等のコンサートを企画している。
- ・ 地元ゆかりのある方のサポートをしたいという思いと地方にレベルの高い演奏を届けたいという思いで活動をし始めた。
- ・ 地元のホールが貸館しかしていなかったのも、もっと地方のホールを活用したいという思いもあった。

収入の状況

- ・ 現状の儲けはほとんどない。
- ・ 助成金に頼ると無くなったときに活動できなくなるので、チケット収入だけで公演が成立できるように工夫している。
- ・ 最近は、地元の企業から協賛金をもらえている。地元の企業なので演奏者も身が引き締まる思いがする。

コロナの影響

- ・ 客足が全く伸びていない。各ホールが予算を立てているが、強気に客足が伸びる計算をしているホールは無い。
- ・ ホールの運営者の中には、「友の会」を作って固定客を作ろうとしている動きもある。
- ・ 一方で、企業の研修や会議などで広いホールを使う人もおり、思わぬ需要もある。

求めるもの

- ・ 文化情報誌「れいかる」の各地域版があればうれしい。各ホールに問合せするなど、情報の吸い上げができているので、そのように情報の一元化をしてほしい。
- ・ 演奏のレベルが高いのに演奏できていない人がたくさんいるので、そのような人たちの場づくりをしてほしい。
- ・ ホールで企画をする人材が育っていない。運営・企画者をどう育てていくか、検討が必要。

③会場を提供する人(ホール経営者)

活動の状況

- ・ 25年間音楽ホールを経営しており、主催コンサートを年に3、4回している。
- ・ できるだけ地元ゆかりの演奏者に滋賀県で演奏できる環境を整備したいという思いを持っている。
- ・ ホール内で音楽教室も開催している。

収入の状況

- ・ 収益についてはあまり重視していない。兼業でホール経営を行っている。
- ・ 最近は、チラシの作成付きのホール借上プランなども作って出演者を募って、収入が得られるように工夫している。

コロナの影響

- ・ コロナの時は1年間閉館した。今は客席の規制はしていないが、演奏家が気にしている。
- ・ 公演数は増えていない。前に公演をキャンセルした人が戻って来ているだけ。
- ・ 大きいホールの方が換気も良いと考えられているので、演奏者もそちらで公演するようになっている。

求めるもの

- ・ HPか文化情報誌「れいかる」しか広報できていない。
- ・ 特に小さいホールは自分で広報ができていないので広報に協力してもらえるとありがたい。

④道具等を提供する人(道具製作者)

活動の状況

- ・ 和楽器の絃を製作している。明治時代に創業しており、現在はほとんどの都道府県へ出荷している。
- ・ 現在、国内に絃を作っている会社は4社(うち3社は滋賀県)しかなく、そのうちの1社である。

収入の状況

- ・ 楽器本体の製造をしていた会社は、現在、メンテナンス業がメインになってきている。
- ・ 最近は、ネットで安く修理してくれる業者もあるため、ビジネスでは成り立たなくなってきている。
- ・ 昔ながらの製法で製作するという使命感で働いている。

コロナの影響

- ・ 奏者が演奏会をできなくなり、練習もしなくなるので、売上は大幅に減った。一時期は廃業騒ぎにもなった。
- ・ 売上は4割減になったが、ここ3か月は演奏会の復活と共に回復している。
- ・ コロナの間に糸の実験を繰り返した結果、最近は、海外への糸の輸出が増えている。

求めるもの

- ・ 滋賀県には実は昔ながらの技術・文化が残っているが、県内の人はあまり知らないので、テーマパークなどではなく、本物の良質な文化を見てほしい。
- ・ 万人に受けるかどうかではなく、滋賀ならではの文化を地道にPRし続けてほしい。
- ・ 音楽の中でも邦楽分野にもお金をつけて振興を図ってほしい。

⑤教える人(教室経営者)

活動の状況

- ・ バレエ教室経営をはじめとして舞台芸術の企画、講演活動、演出、留学のサポートなどを行っている。
- ・ バレエ教室を経営する際には、大きな経営ビジョンを立て、それに向かって各クラスに所属する生徒がどのように成長していくか、言語化して伝えている。
- ・ バレエ教室では珍しく、教室を株式会社化した。

コロナの影響

- ・ 収入が落ち、この3年間は新規生徒が増えなかった。
- ・ 一番苦しかったのは、教室に当てはまるガイドラインが無かったこと。感染のリスクは低いのに保護者に理解してもらいにくかった。
- ・ コロナ対応が全部個人対応となっていて、相談できるところが無かった。
- ・ 教室を株式会社化しているおかげで商工会の補助金はもらうことができた。

求めるもの

- ・ ビジネス分野と文化芸術分野の両方を考える人が必要。文化で経済を回せるようにしたい。
- ・ ホールと行政と市民をつなぐアートマネージャー的な存在が必要だと思う。各分野に詳しい人しかいないので、そのような人を育てる環境を作してほしい。
- ・ SNSのマーケティングを取り入れたり、次世代を育てる人を育ててもらいたい。特に高校生や大学生が活躍できる仕組みづくりをしてほしい。
- ・ 職業として文化芸術活動している人が見えないので、特に中高生が職業として文化芸術活動するビジョンが見えにくい。兼業でも活動をしている人はたくさんいると思うが、文化芸術分野で生活するというキャリア教育が無い。手が届きそうな目標を見せることができると、目指そうと思えるのではないか。

アンケート・ヒアリングで見えてきた課題

活動 資金

- ・公演経費(出演費・会場費等)の捻出に苦労している
- ・オンライン活動に対する設備機器等の資金援助がほしい

広報 ・PR

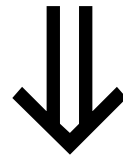
- ・PRツールを持っていないので広報を手伝ってほしい
- ・SNSを利用した広報の仕方がわからない

活動 ・発表 機会

- ・ギャラリーなどの活動場所がもっとほしい
- ・県や市のイベントがあれば声をかけてほしい

ネット ワーク づくり

- ・各文化団体との交流や情報共有の場がほしい
- ・アーティスト同士の繋がりが生まれるような場所がほしい



今回の論点

- ・課題を解決していくために、行政と文化芸術関係者のそれぞれがどのようなことに取り組めばよいか。

滋賀県文化審議会第30回会議（令和5年2月8日）での指摘事項

○委員

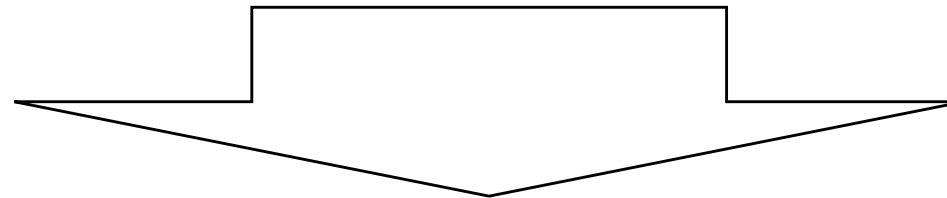
- ・ 資料2-2を見ていると、実際に文化芸術活動をされている方の属性とはプロとセミプロとアマチュアの3つのタイプに分かれていることが分かる。
- ・ そこから、文化芸術活動をされている方の収入バランスと芸術活動に対する目的を今後整理していくことで、支援の仕方や場所の提供を考えることができる。
- ・ プロでも無償とする芸術活動、本業の芸術活動と指導する活動など、3役、4役してる芸術家がいるが、その方への支援と評価のあり方について何か考えがあるか。

○事務局

- ・ 専業か兼業か生業としていないかでソートを絞ってクロス集計を行い、専業の方は、他の質問の中でどういうことを感じているかということは集計できると思う。

○会長

- ・ そもそもコロナ前にどういう形態で活動されていたかという類型をちゃんと分析していくと良い。今後どういう形でその人たちの活動・生活を持続させることができるのかというところで、単に公演の収入とか作品販売の収入だけではなく、教育活動や部活動に貢献することで収入を得たり、観光や地域の活動への貢献で得る可能性もある。
- ・ コロナ前の収入構成別のクロス集計などでいろいろな情報を得られる。

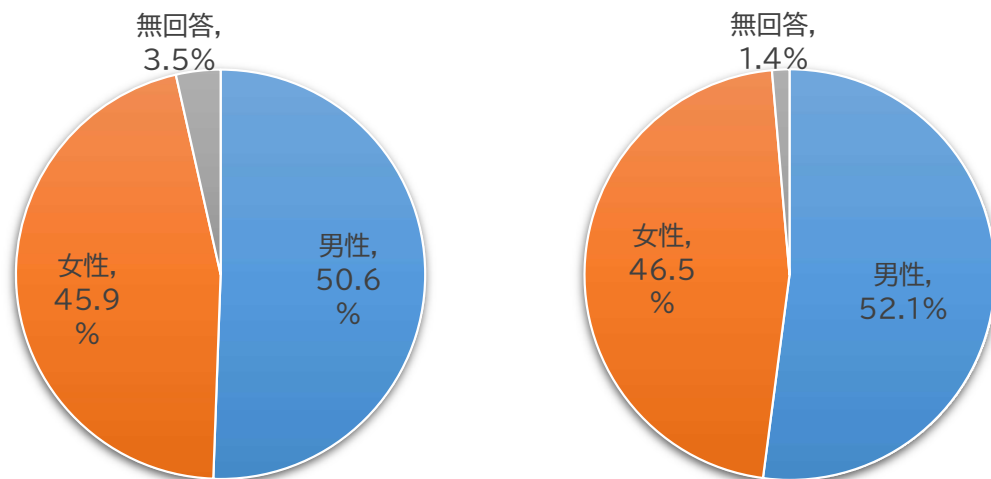


個人向けアンケートの各設問について、文化芸術活動について
専業または兼業で活動されている方とそれ以外の方で分類し、回答状況进行分析

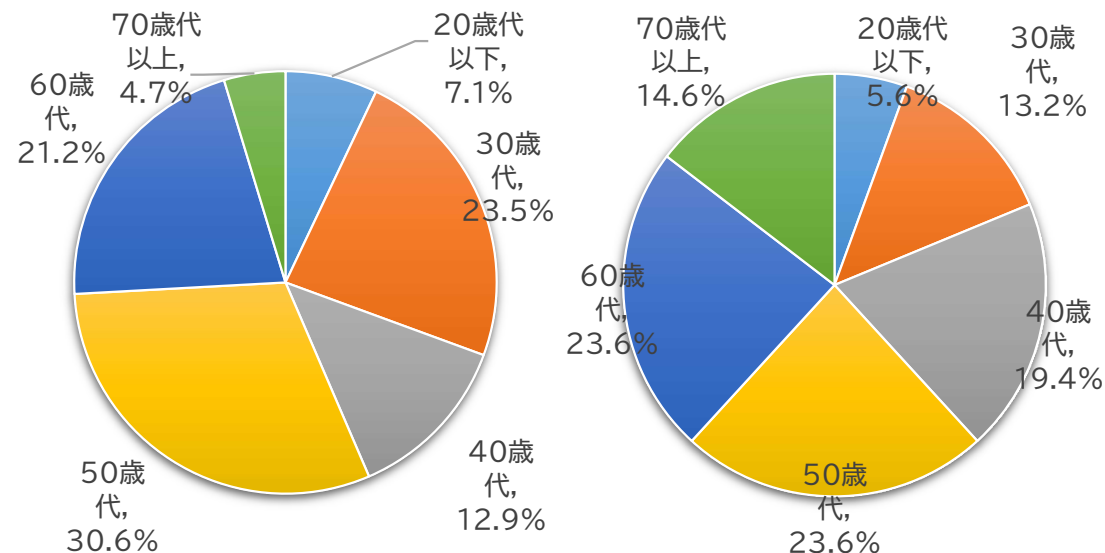
【個人用】クロス集計結果

※設問番号は第30回審議会で公表した資料に対応しています。

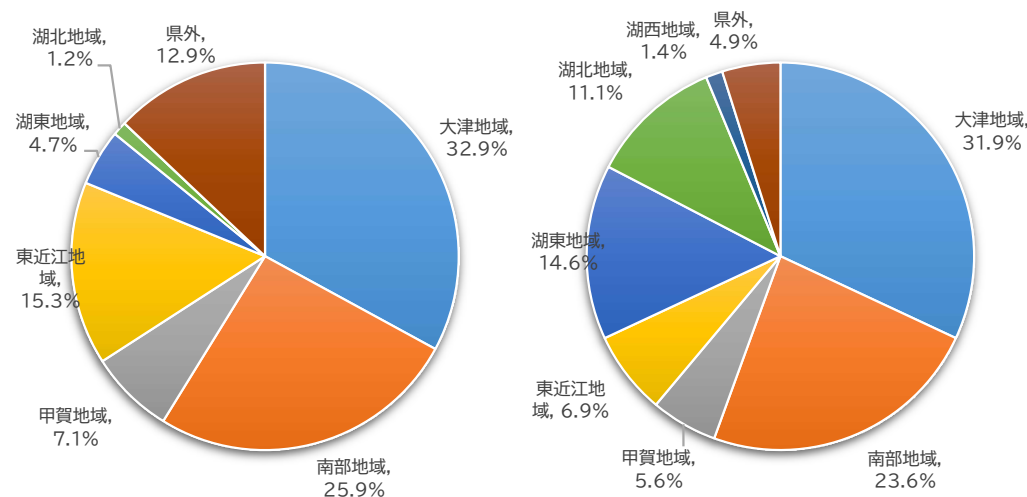
1 あなたの性別を教えてください。
(左・専業または兼業n=85 右・その他n=144)



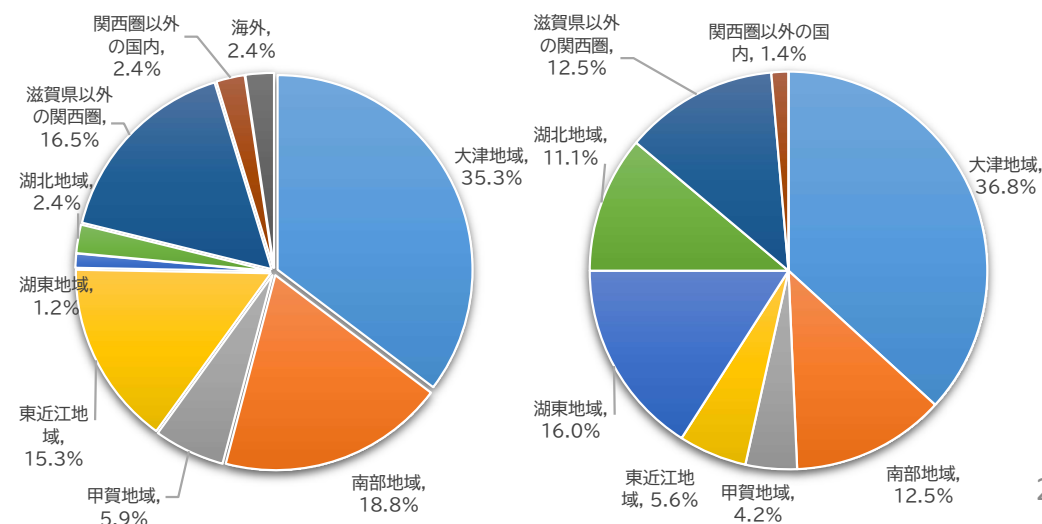
2 あなたの年齢を教えてください。
(左・専業または兼業n=85 右：その他n=144)



3 あなたが現在お住まいになっている地域を教えてください。
(左・専業または兼業n=85 右：その他n=144)

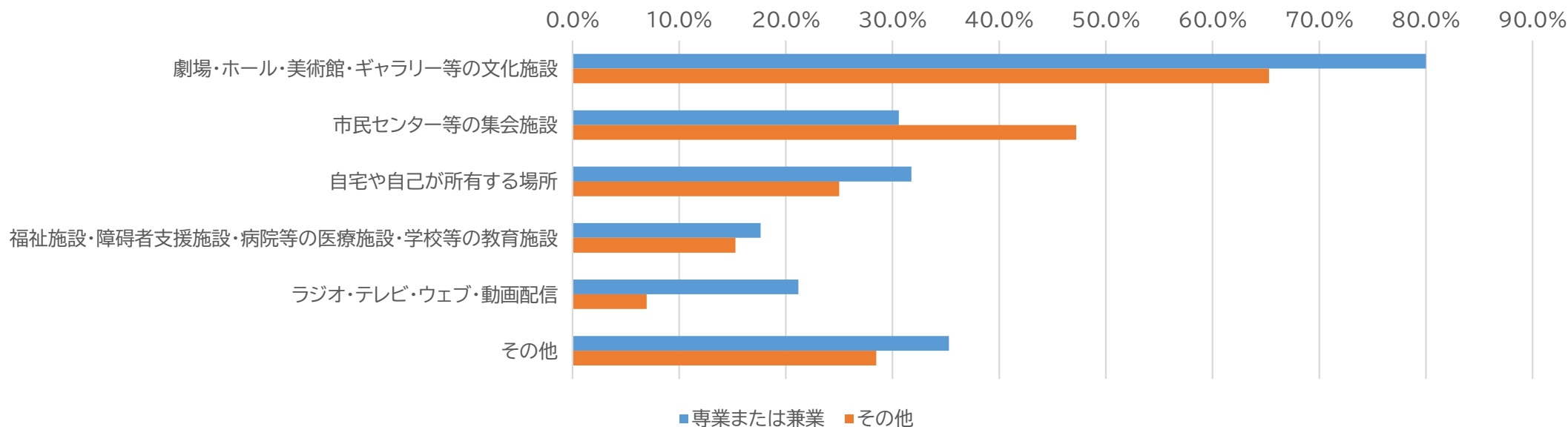


4 あなたの文化芸術活動の拠点地域を教えてください。
(左・専業または兼業n=85 右：その他n=144)

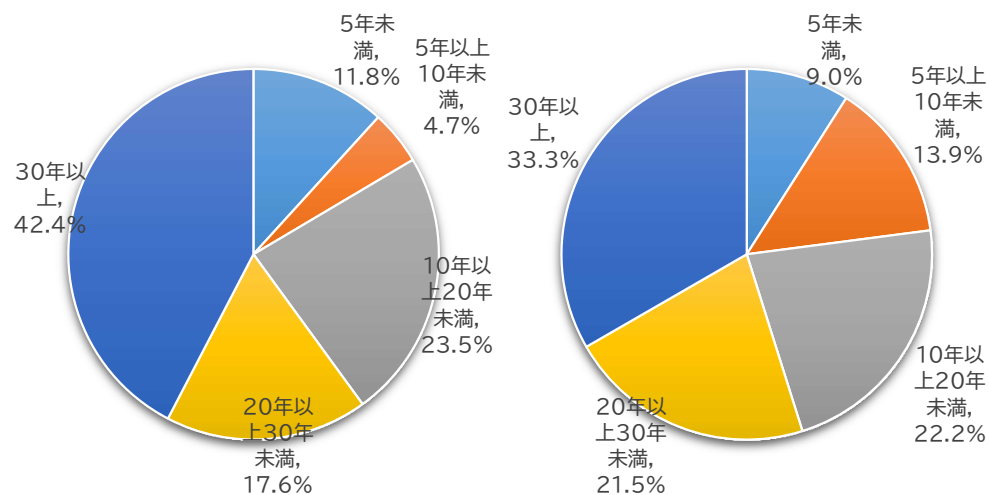


【個人用】クロス集計結果

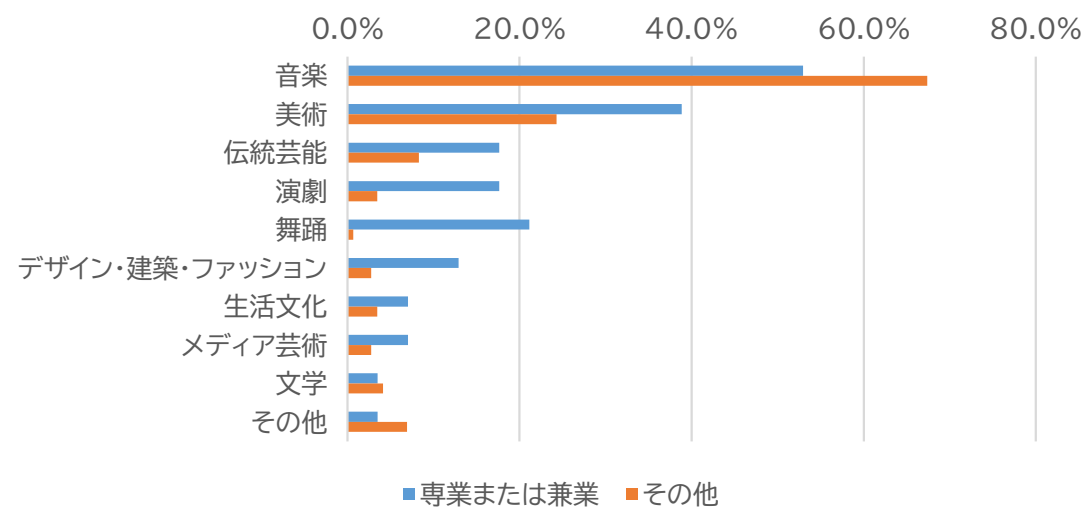
5 あなたが文化芸術活動を行う場所はどのような施設ですか。(複数回答可)
(専業または兼業n=85 その他n=144)



6 あなたはどのくらい文化芸術活動をしていますか。
(左・専業または兼業n=85 右・その他n=144)

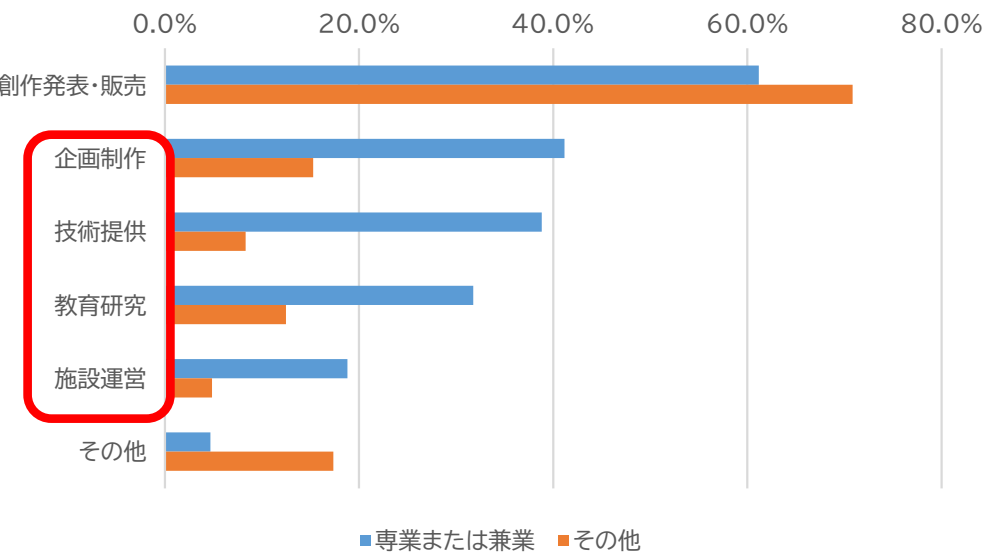


7 あなたの文化芸術活動の分野を教えてください。(複数回答可) (専業または兼業n=85 その他n=144)



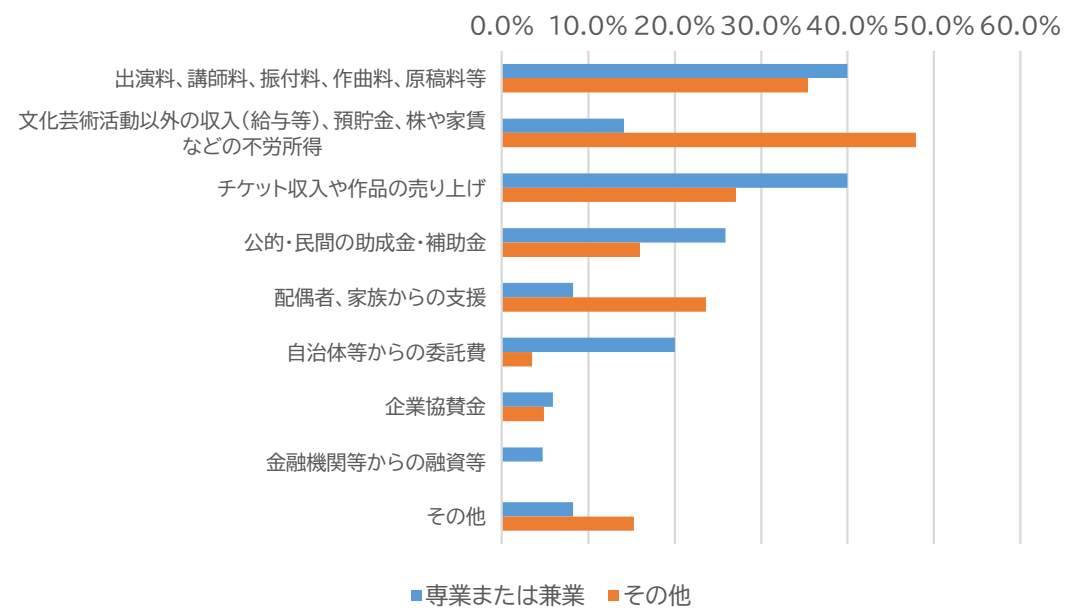
【個人用】クロス集計結果

8 あなたは文化芸術活動においてどのような活動をされていますか。(複数回答可)
(専業または兼業n=85 その他n=144)

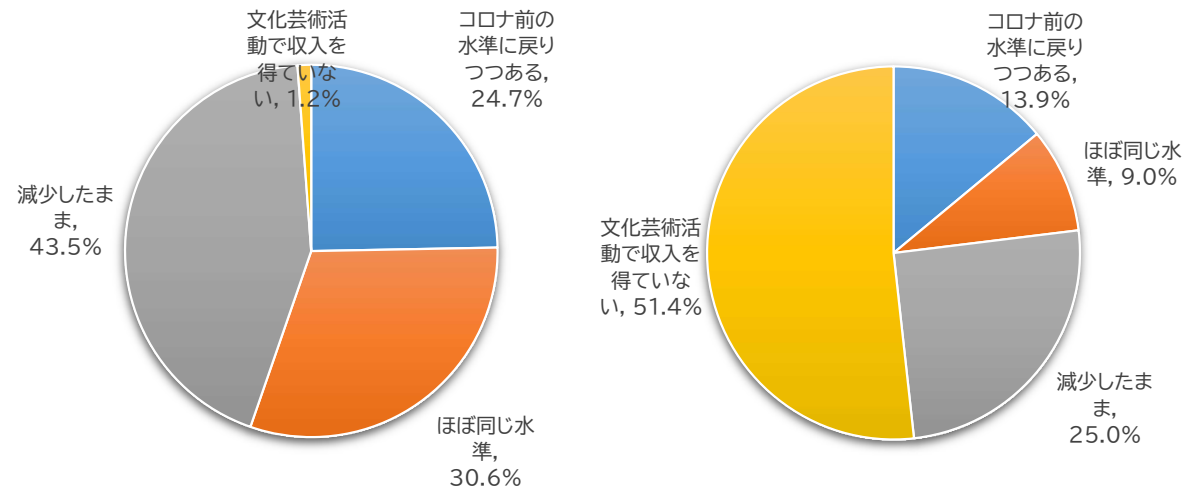


※設問9はクロス集計できない内容のため省略

10 あなたの文化芸術活動での財源を教えてください。(複数回答可)
(専業または兼業n=85 その他n=144)

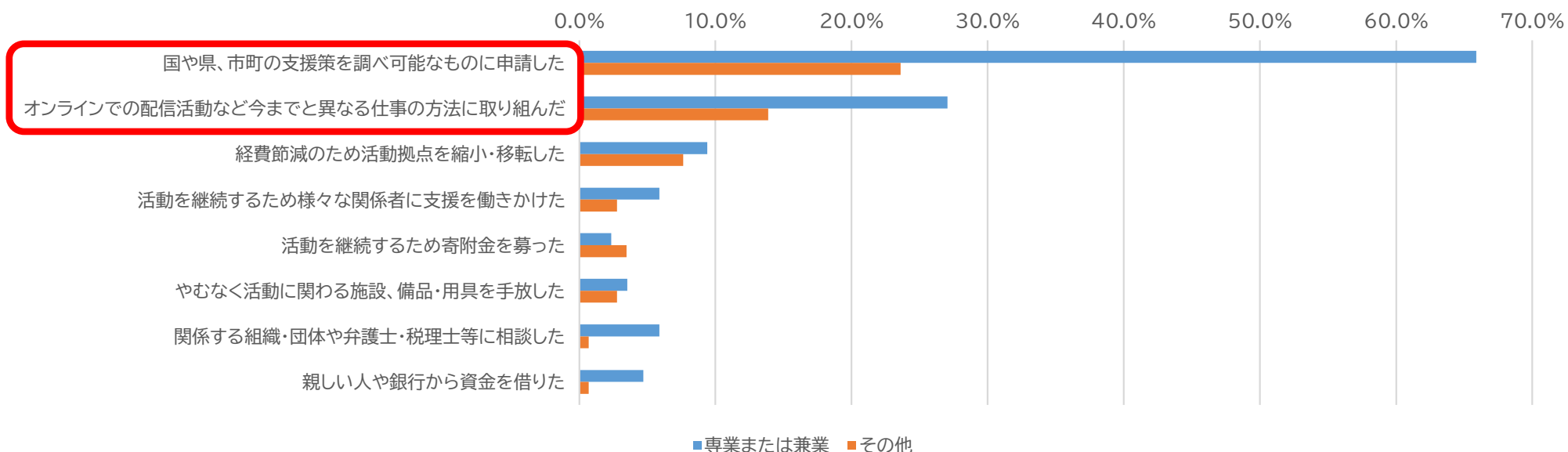


11 コロナ前(令和元年頃)と比較して現在(回答日時点)の文化芸術活動での収入の状況を教えてください。(左・専業または兼業n=85 右・その他n=144)

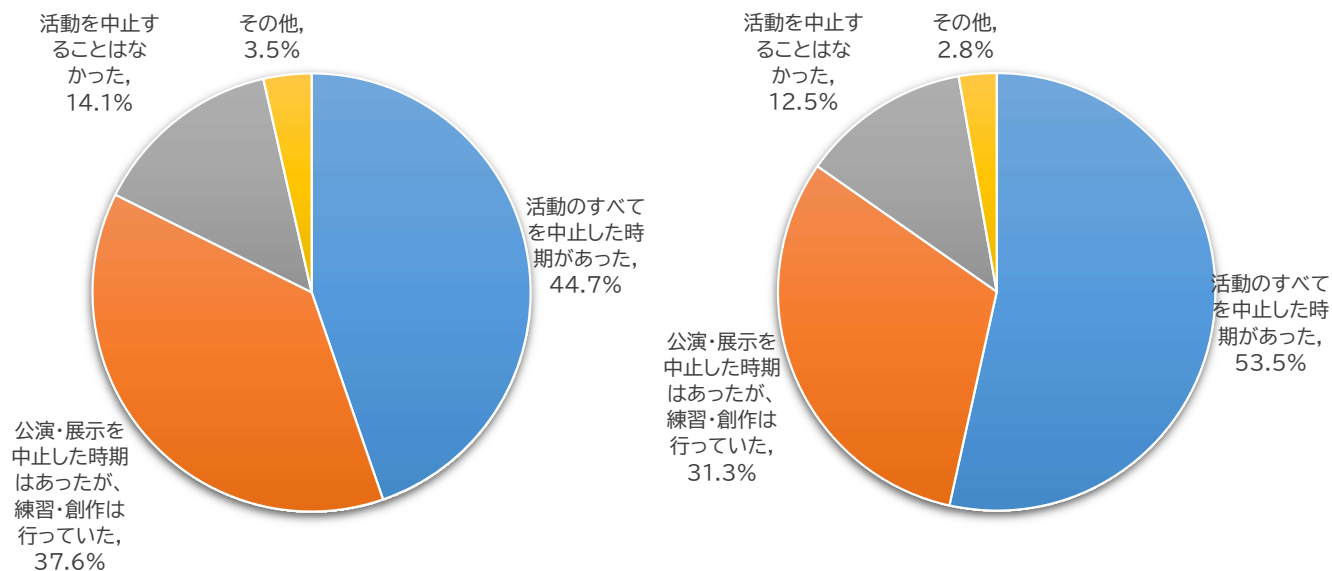


【個人用】クロス集計結果

1 2 あなたが行ったコロナ禍を乗り越えるための対応を教えてください。（複数回答可）
（専業または兼業n=85 その他n=144）

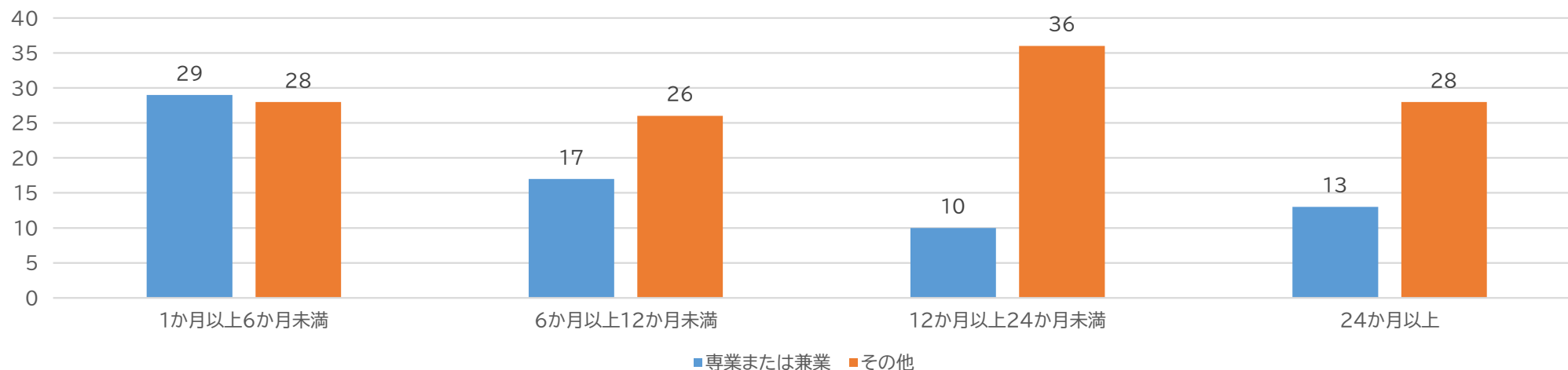


1 3-1 令和2年2月以降コロナの影響によって、文化芸術活動を中止もしくは自粛した時期はありましたか。（左・専業または兼業n=85 右・その他n=144）

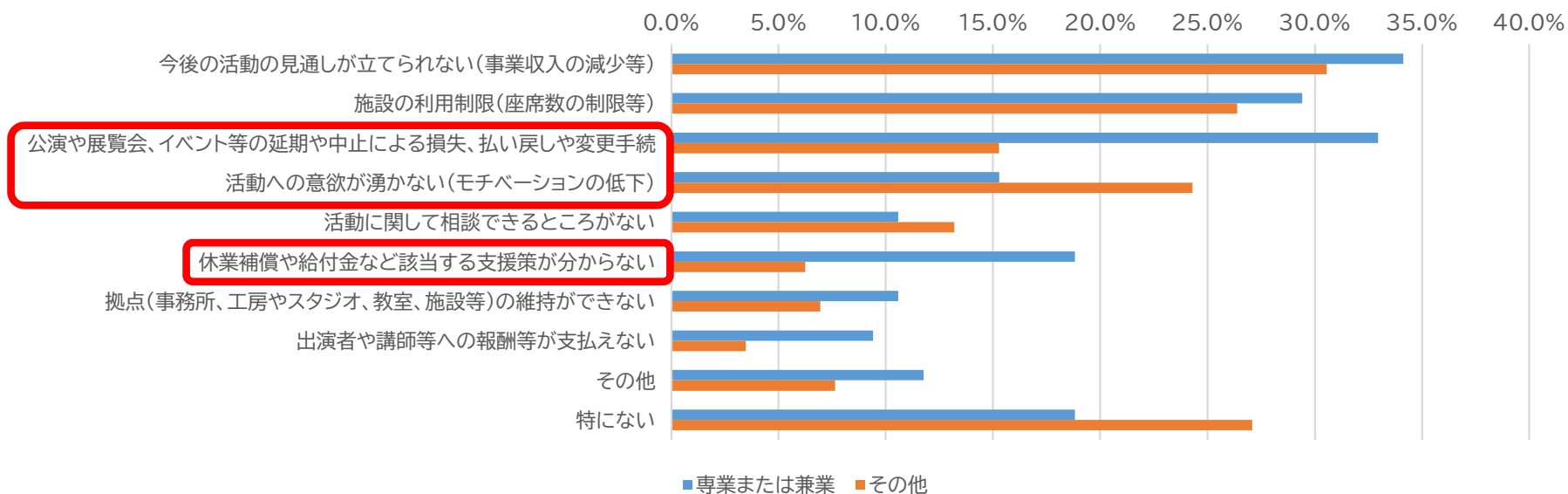


【個人用】クロス集計結果

1 3 - 2 「活動のすべてを中止した時期があった」「公演・展示を中止した時期はあったが、練習・創作は行っていた」と回答した方にお尋ねします。現在(回答日時点)まで合計でどのくらいの期間、文化芸術活動を中止もしくは自粛しましたか。(専業または兼業n=69 その他n=118)

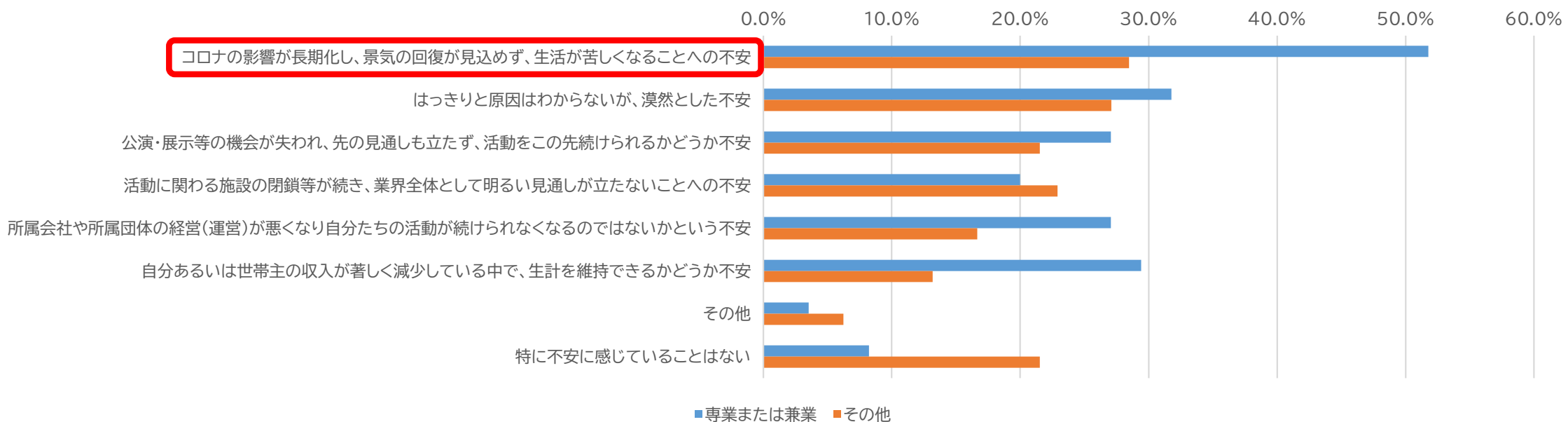


1 4 コロナに関連して現在困っていることを教えてください。(複数回答可)
(専業または兼業n=85 その他n=144)

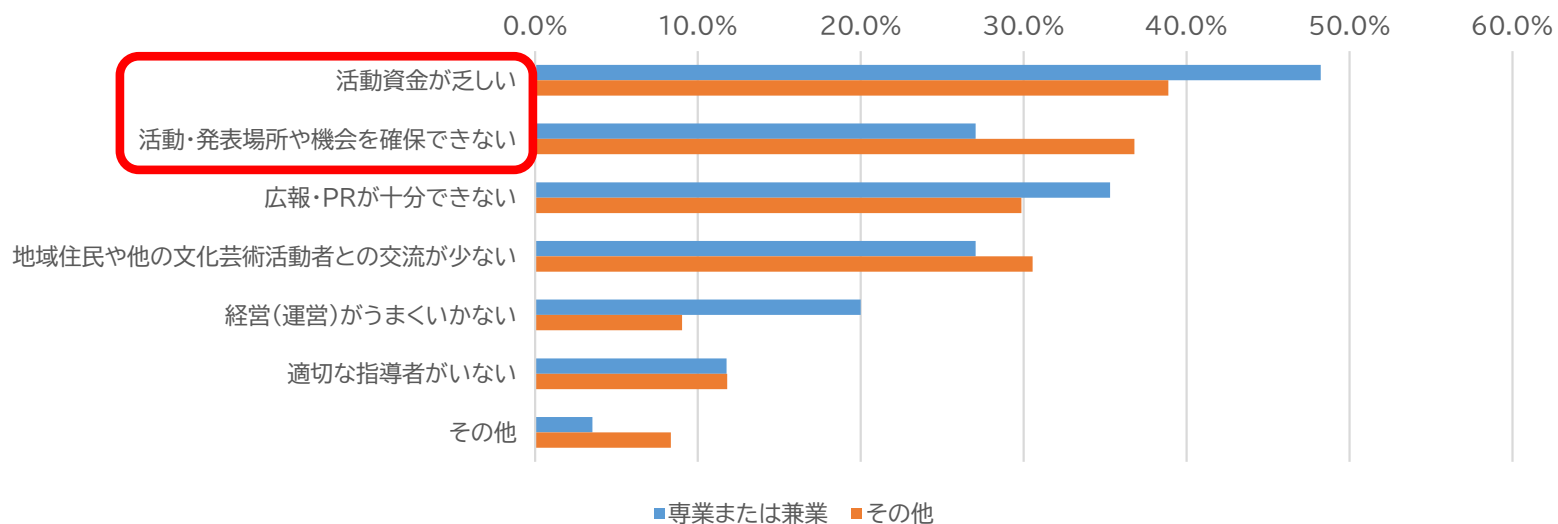


【個人用】クロス集計結果

1 5 コロナに関連して将来に向けて不安に感じていることを教えてください。(複数回答可)
(専業または兼業n=85 その他n=144)

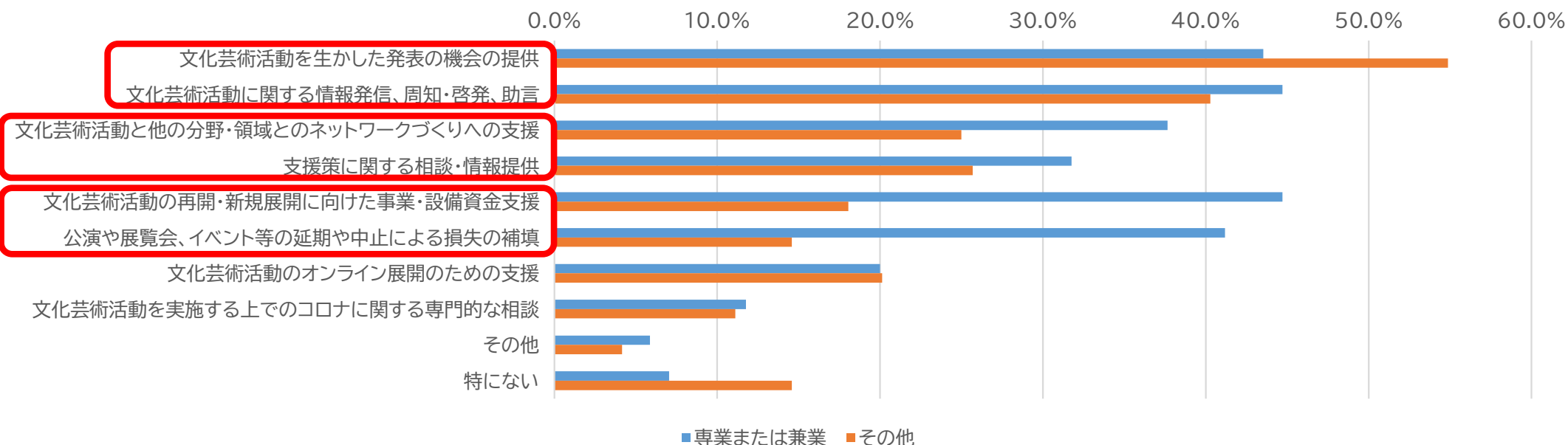


1 6 あなたが文化芸術活動を行う上での問題点を教えてください。(複数回答可)
(専業または兼業n=85 その他n=144)



【個人用】クロス集計結果

17 あなたが必要としている支援を教えてください。（複数回答可）
（専業または兼業n=85 その他n=144）



まとめ

- ・ 文化芸術活動について専業または兼業（以下「専業等」という。）で活動されている方は、コロナ禍において公的支援策を調べ申請したり、オンラインでの配信活動を行うなどの対応を取った一方で、該当する支援策が分からないといった声がある。
- ・ 必要としている支援について、専業等で活動されている方は金銭面での補助に加え、「他の分野・領域とのネットワークづくりへの支援」を選択している割合が、専業等以外で活動されている方よりも割合が高い。
- ・ クロス集計結果を踏まえ、専業等で活動されている方、専業等以外で活動されている方のそれぞれに対し、どのようなことに取り組みばよいか。

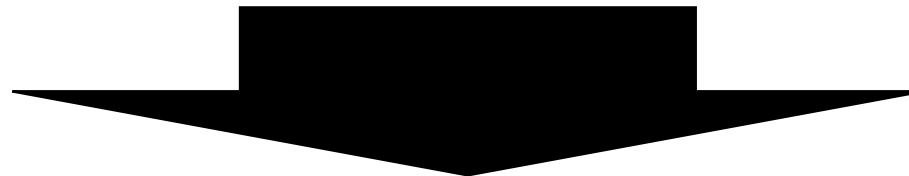
重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

1 重点検討事項の趣旨・経緯

新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術家や文化団体、企画制作スタッフ、関係事業者等は活動機会や収入を失うなどの大きな影響を受けた。とりわけ、職業として文化芸術に携わる文化芸術関係者においては、生計の維持が困難になるなど、活動継続(事業継続)にも支障が生じる事態となった。

一方で、県ではこうした文化芸術関係者の活動実態を適切に把握できておらず、このことが支援を行う上での課題となった。また、国においてもコロナ禍で同様の課題が生じた。

このため県では、文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、その基礎情報となる文化芸術関係者の活動実態を適切かつ継続的に把握していくこととした。

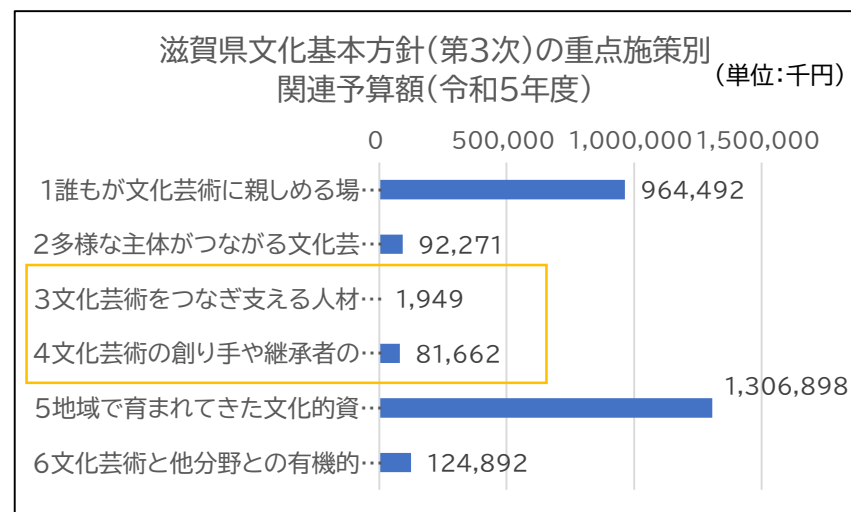
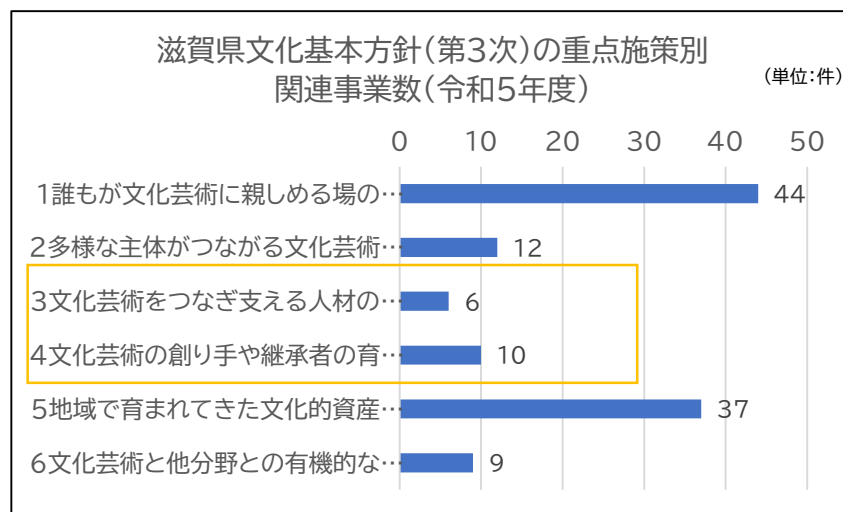


上記の趣旨・経緯に基づき実施した実態把握等の結果を踏まえ、
滋賀県の「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援」として望ましい施策を検討する。

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

2-1 現状と課題

- ・ 滋賀県文化振興基本方針(第3次)の3つの柱(「1 場を作る」「2 人を育む」「3 地域や社会に活かす」)のうち、「2 人を育む」の重点施策「3 文化芸術をつなぎ支える人材の育成・確保」および「4 文化芸術の創り手や継承者の育成・支援」についての事業数および予算額が少ない。



重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

2-2 これまでの県の支援策

- 令和2年度から令和5年度にコロナ禍における文化芸術活動者向け補助事業を行った。
 「未来へつなぐ 滋賀文化活動応援事業」(R2:223件 3,410千円 R3:226件 35,266千円)
 「文化芸術公演支援事業」(R2:123件 10,415千円 R3:291件 20,199千円)
 「文化芸術活動継続支援事業」(R4:431件 20,005千円 R5:172件 4,574千円)
- 令和4年度に文化芸術ポータルサイト「SHiGA Art」を構築し、県内文化芸術関係者の情報、県内ホール・ギャラリー情報等の発信に取り組んでいる。
- 地域にある滋賀特有の美の資源の活用・発信につながる事業等を対象とした補助事業(「滋賀をみんなの美術館に」プロジェクト)を行っている。

滋賀を文化芸術で元気にしよう！

上限 **20万円** 9/13 締め切り

補助金が受けられます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う活動の自粛等により、公演等の活動機会を失った文化活動関係者の活動継続を支援するため、感染症対策を実施しながら再開する文化活動に対し補助金を交付します。

○ 出訪予定の観覧客が中止となり、感染症対策を行って、新たに観覧客を開拓する。
 ○ 出演予定の演奏者が中止となり、改めて演奏者をインターネット上で公開する。
 …… この機会に補助金を活用して、文化芸術活動を再開し続ける。
 公演等が来年度になる場合も、事後作業が対象になります。
 実演家だけでなく、技術スタッフ、舞台スタッフの方も対象です。

▼以下の取組に必要な経費を支援します (1)+(2)の合計上限額：20万円

取組	補助対象経費	補助率	補助限度額
(1) 文化芸術経費	文化活動に直接関係する以下の下部(2)の補助対象経費を除くもの	3/4	10万円
(2) 感染症拡大防止対策経費	感染症拡大防止対策にかかる経費 (例)消毒薬・マスク購入費、換気設備点検費・換気機購入費等	3/4	10万円

お問い合わせ先
 文化芸術振興課 文化活動応援事業・事務局
 (公益財団法人) びわ湖滋賀文化財団 内

電話 077-523-7146
 定時受付 0900-091-2940
 13時00分～17時00分
 FAX 077-523-7147

未来へつなぐ びわ湖

滋賀をみんなの美術館に

プロジェクト補助事業募集

地域にある滋賀の美の資源を活用し、
発信につながる活動をされる方を支援します。

(対象者) ① 滋賀の美をこれからの世代に引き継ぎたい、継承・発展させたい、新たな美の創造や発信を志す者
 ② 人や地域が抱える、または抱えている課題の解決や、美の資源の活用を通じて、地域社会の活性化や文化芸術の振興を図りたい者
 ③ 地域で育った美の魅力を発信し、見守り、育てたい者

④ 補助の対象となる者は、特定非営利活動法人、公益法人、社会福祉法人、学校法人、協賛組合、自治会、任意団体および企業ならびに市民とし、次の条件すべてを満たすこととする。

① 県内に所在地または活動の拠点を有すること
 ② 団体の意思を決定し、執行する組織が確立していること
 ③ 活動の継続、発展を図ることが目的で活動の継続を目的としていること
 ④ 文化芸術の振興を目的とする者および宗教活動や政治活動を主たる目的とする者でないこと
 ⑤ 滋賀県財政補助第195条の2各号のいずれにも該当しない者であること

応募方法・応募期限
 〒520-2122
 滋賀県大津市南国分町1740-1
 (公益財団法人) びわ湖滋賀文化財団 内
 電話 077-523-7146
 FAX 077-523-7147

募集期限 2023年9月13日(水)まで

お問い合わせ先
 文化芸術振興課 文化活動応援事業・事務局
 (公益財団法人) びわ湖滋賀文化財団 内

滋賀をみんなの美術館に

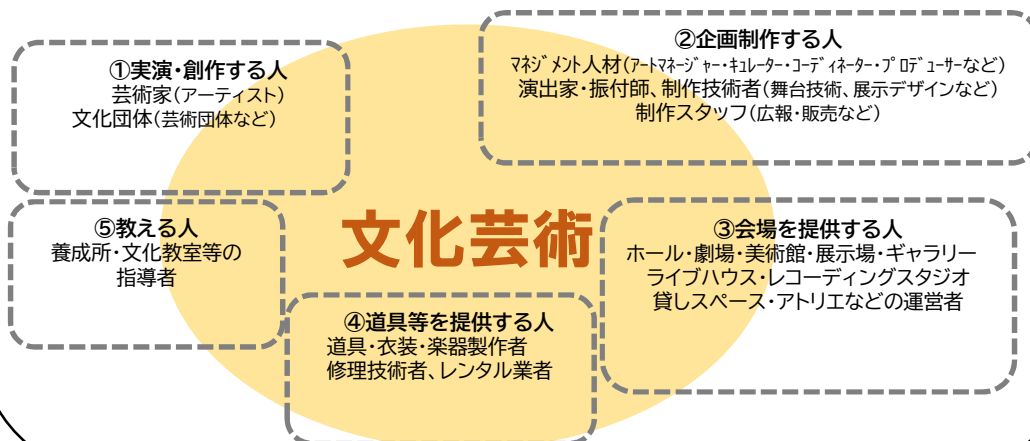
詳細は、下記連絡先へメールでお問い合わせください。
<https://www.pref.shiga.jp/culture/shiga30550/331538.html>

このような状況を踏まえ、滋賀県文化振興基本方針(第3次)では、「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」を重点検討事項として、滋賀県文化審議会において取り組んでいる。

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

2-3 これまでの調査から見てきた課題

- ・ 第30回審議会を踏まえアーティストや文化団体あてのヒアリングを実施するとともに、県政モニターアンケート調査のクロス集計を行った。
- ・ 専業等の活動者にとって「活動資金」、「広報・PR」、「活動・発表機会」、「ネットワークづくり」の4点を課題と感じている割合が高いことが判明した。



課題1 活動資金

- ・公演経費(出演費・会場費)の捻出に苦労している。
- ・オンライン活動に対する設備機器などの資金援助がほしい。

課題2 広報・PR

- PRツールを持っていないので広報を手伝ってほしい。
- SNSを利用した広報の仕方がわからない。

課題3 活動・発表機会

- ギャラリーなどの活動場所がもっとほしい。
- 県や市のイベントがあれば声をかけてほしい。

課題4: ネットワークづくり

- 各文化団体との交流や情報共有の場がほしい。
- アーティスト同士の繋がりが生まれるような場所がほしい。

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

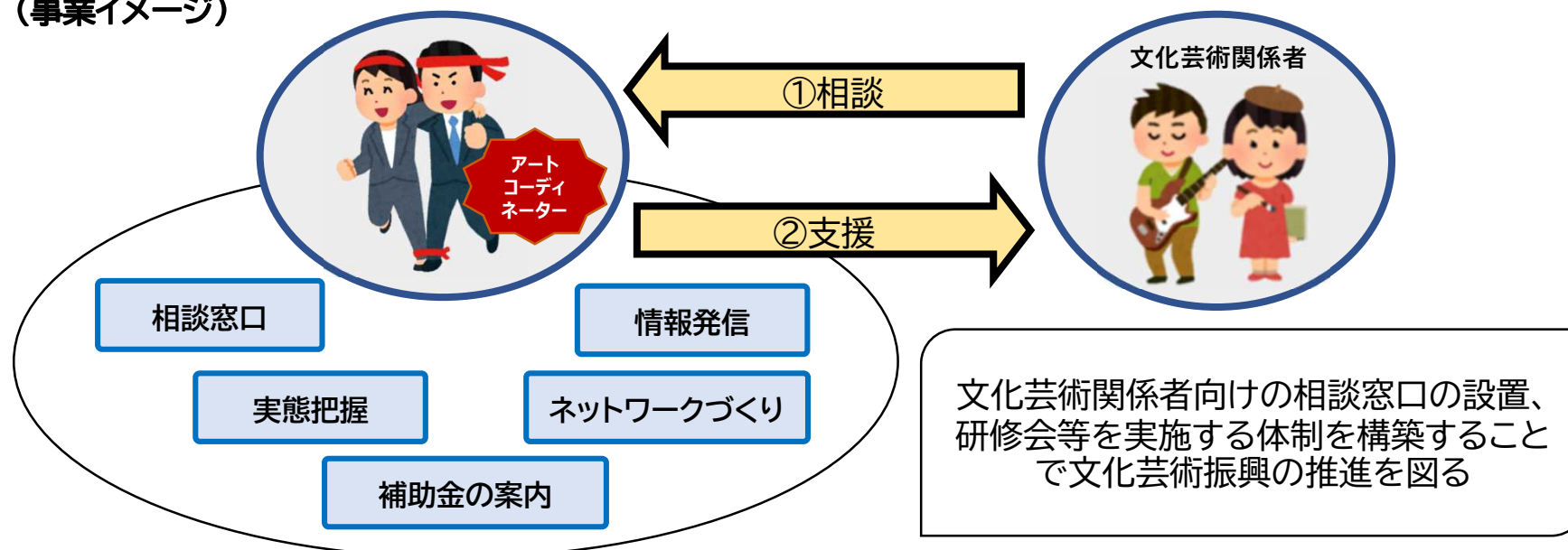
3 支援のあり方の検討

滋賀県の文化芸術関係者への支援施策としてどのようなものが望ましいか

事務局では、他の自治体で実施されている文化芸術関係者への支援策の調査および文化芸術関係者の活動支援機関への視察を踏まえ、以下のような施策を検討している。

- ・ 対象者:文化芸術関係者(主に文化芸術活動で収入を得ている者)を想定
- ・ 支援内容:アートコーディネーターを配置し、相談窓口での各種相談・実態把握、研修会・交流会の開催、補助金の案内 等

(事業イメージ)



重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

1 重点検討事項の趣旨・経緯

新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術家や文化団体、企画制作スタッフ、関係事業者等は活動機会や収入を失うなどの大きな影響を受けた。とりわけ、職業として文化芸術に携わる文化芸術関係者においては、生計の維持が困難になるなど、活動継続(事業継続)にも支障が生じる事態となった。

一方で、県ではこうした文化芸術関係者の活動実態を適切に把握できておらず、このことが支援を行う上での課題となった。また、国においてもコロナ禍で同様の課題が生じた。

このため県では、文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、その基礎情報となる文化芸術関係者の活動実態を適切かつ継続的に把握していくこととした。

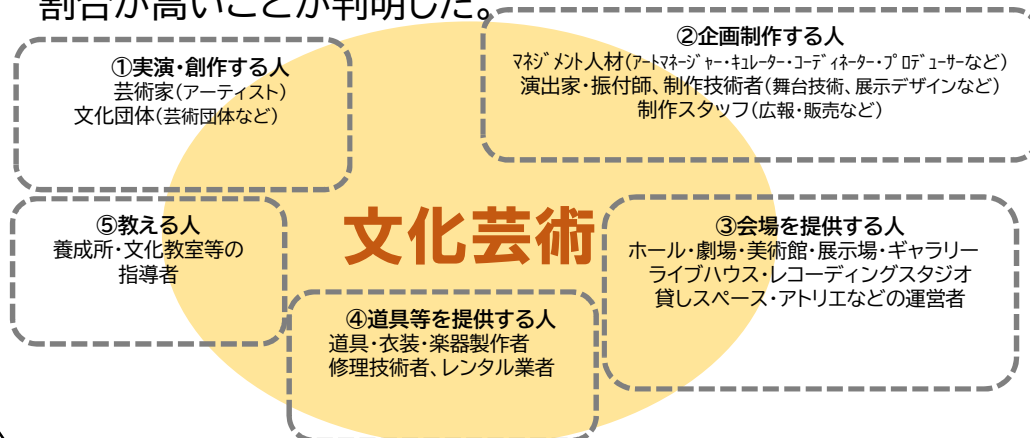


上記の趣旨・経緯に基づき実施した実態把握等の結果を踏まえながら、滋賀県文化振興基本方針(第3次)では、「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」を重点検討事項として、滋賀県文化審議会において取り組んできた。

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

2 調査から見てきた課題

- ・ 第30回審議会を踏まえアーティストや文化団体あてのヒアリングを実施するとともに、県政モニターアンケート調査のクロス集計を行った。
- ・ 専業等の活動者にとって「活動資金」、「広報・PR」、「活動・発表機会」、「ネットワークづくり」の4点を課題と感じている割合が高いことが判明した。



課題1 活動資金

- ・公演経費(出演費・会場費)の捻出に苦労している。
- ・オンライン活動に対する設備機器などの資金援助がほしい。

課題2 広報・PR

- PRツールを持っていないので広報を手伝ってほしい。
- SNSを利用した広報の仕方がわからない。

課題3 活動・発表機会

- ギャラリーなどの活動場所がもっとほしい。
- 県や市のイベントがあれば声をかけてほしい。

課題4:ネットワークづくり

- 各文化団体との交流や情報共有の場がほしい。
- アーティスト同士の繋がりが生まれるような場所がほしい。

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

3 これまでの県の支援策

- ・ 令和2年度から令和5年度にコロナ禍における文化芸術活動者向け補助事業を行った。
 「未来へつなぐ 滋賀文化活動応援事業」
 (R2:223件 3,410千円 R3:226件 35,266千円)
 「文化芸術公演支援事業」
 (R2:123件 10,415千円 R3:291件 20,199千円)
 「文化芸術活動継続支援事業」
 (R4:431件 20,005千円 R5:172件 4,574千円)
- ・ 令和4年度に文化芸術ポータルサイト「SHiGA Art」を構築し、県内文化芸術関係者の情報、県内ホール・ギャラリー情報等の発信に取り組んでいる。
- ・ 地域にある滋賀特有の美の資源の活用・発信につながる事業等を対象とした補助事業(「滋賀をみんなの美術館に」プロジェクト)を行っている。

滋賀を文化芸術で元気にしよう

上限 20万円 **9/13** (締め切り)

補助金が受けられます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う活動の自粛等により、公演等の活動機会を失った文化活動関係者の活動継続を支援するため、感染症対策を実施しながら再開する文化活動に対し補助金を交付します。

○ 出演予定の演覧会が中止となり、公演が延期となり、新たに観覧券を発売する。
 ○ 出演予定の演覧会が中止となり、改めて演覧会をインターネット上で公開する。
 ……この措置に補助金を活用して、文化活動活動を再開しません。
 公演等が実現となる場合も、補助金が交付されます。
 実演家だけでなく、技術スタッフ、舞台スタッフの方も対象です。

▼以下の取組に必要な経費を支援します (1) + (2) の合計上限額: 20万円

取組	補助対象経費	補助率	補助額上限
(1) 文化活動継続	文化活動に係る経費のうち下記(ア)の補助対象経費を指します。	3/4	10万円
(2) 感染症防止対策経費	感染症防止対策にかかる経費 (例)消毒薬、マスク購入費、飛沫防止装置購入費 等	3/4	10万円

お問い合わせ先
 「未来へつなぐ」の文化活動応援事業課、事務局
 (公益財団法人 びわ湖芸術文化財団 内)

電話: 077-523-7144
 受付時間: 9時00分～17時00分
 (土日・祝日、夏季休業日を除く)

未来へつなぐ しが

滋賀をみんなの美術館に **6/15(水)** (締め切り)

プロジェクト補助事業募集

地域にある滋賀の美の資源を活用し、発信につながる活動をされる方を支援します。

(募集) 〇 地域の美の資源をこれまで以上に活用し、発信し、地域内外に発信すること、新たな活動や地域活性化を促すこと等を目的とする。〇 人や地域が主となり、支え手としてきた美の資源を人をつなぐ、美の資源を伝えることを目的として、地域内外の美の資源を活用し、発信すること。〇 地域で育ち、育ち育ちの美の資源を活用し、発信すること。〇 地域で育ち、育ち育ちの美の資源を活用し、発信すること。

対象となる事業
 〇 補助の対象となる事業は、特定非営利活動法人、公益法人、社会福祉法人、学校法人、協賛会、自治会、任意団体および企業ならびに市民団体、次の要件すべてを満たすこととする。
 ① 県内に居住する活動の拠点とする。② 団体の運営を決定し、執行する組織が確立していること。③ 地域に貢献し、協賛することによって美の資源が活用され、発信されていること。④ 文化活動の推進を目的とする者および関係活動や施設運営を主とする目的とする者でないこと。⑤ 滋賀県美術館第195号の2号のいずれにも該当しない者であること。

応募先: 滋賀県美術館
 〒520-0122
 滋賀県大津市瀬田山崎大津町1740-1
 (滋賀県庁内第2階)
 企画文化・芸術文化・芸術文化課
 企画文化・芸術文化・芸術文化課

電話: 077-543-2124
 受付時間: 9時00分～17時00分
 (土日・祝日、夏季休業日を除く)

滋賀をみんなの美術館に

詳細: 7月15日(水)～18日(土)の3日間開催
<https://www.shiga-art.jp/agency/inter/2025/5/31538.html>

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

4 これまでの検討状況

【R2～R5】

- ・ コロナ禍における文化芸術活動者向けの支援を実施した結果、文化芸術活動の活動再開・継続につながった。
(参考)補助事業対象者向けに実施したアンケートにおいて、文化芸術活動の活動再開・継続の効果が出たと答えた割合
R4年度:71.2% R5年度:67.9%
- ・ コロナ禍で低迷していた文化芸術活動について回復傾向が見られた。
(参考)県が後援した事業数
R2年度:168件 → R5年度:247件 (参考) R1年度:289件



コロナ禍の緊急支援としては一定の効果があったと分析できる。

【R6】

- ・ コロナ禍で明るみとなった課題に対し、通常の活動に戻った現在、支援の必要性の有無も含め、ヒアリングや体制構築事業(※)等で状況把握を行うこととしている。
※文化芸術振興施策推進体制の構築事業(9月以降に実施予定)
下記①～④の事業を実施することで、「文化芸術の創り手や継承者の育成・支援」を推進する。
①相談窓口の設置 ②研修会や交流会の開催 ③実態調査 ④情報発信

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

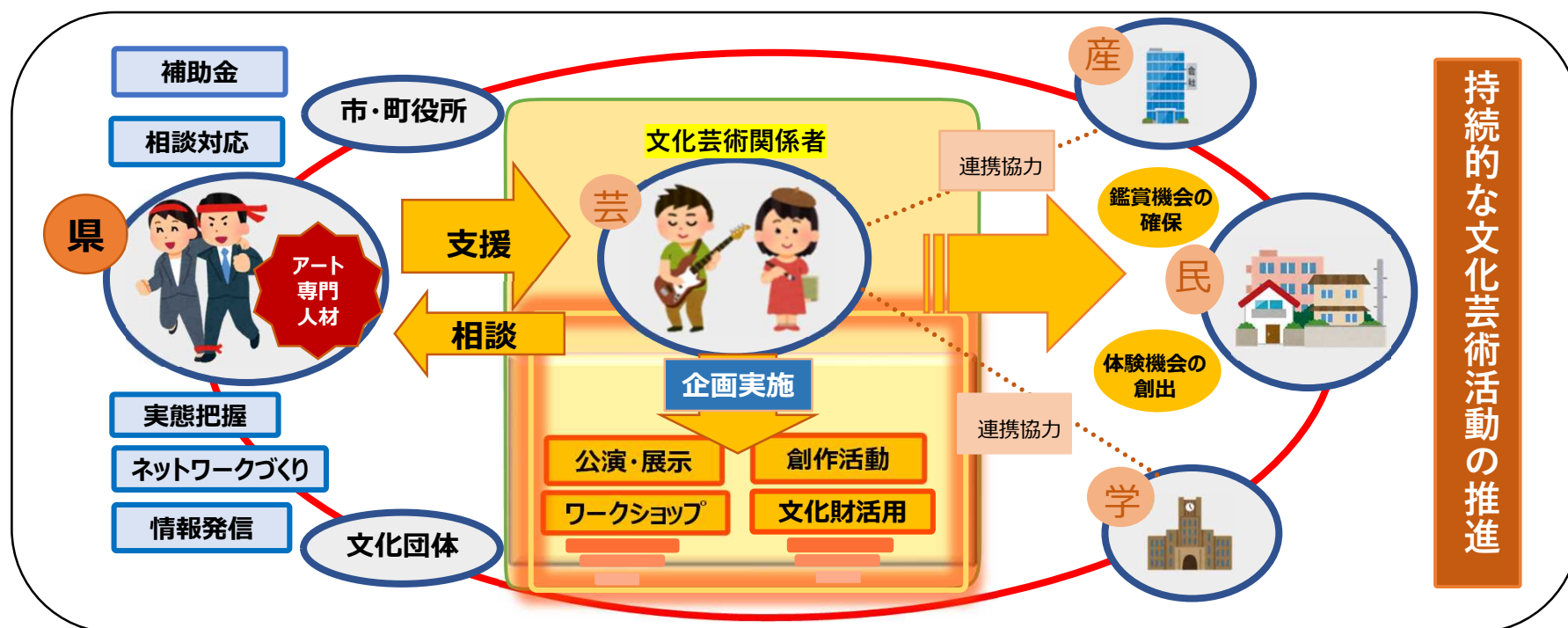
5 今後の展開

- ・「ウィズコロナ・ポストコロナ」を見据えた中長期的な文化芸術の振興に向けて、文化芸術活動者が継続的に活動できるような支援のあり方を引き続き検討し、次期基本方針に反映させていくこととする。

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

1 目指す姿

滋賀の文化的資産をつなぐ仕組みづくり



【背景】新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術関係者は活動継続に支障が生じる事態となった。県では、文化芸術関係者の実態を把握できておらず、このことが支援を行う上での課題となった。

【目標】文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進める。

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

2 滋賀県の現状

滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課

文化芸術振興施策推進体制の構築事業

【概要】文化芸術の創り手や継承者の育成・確保を図るため、相談窓口の設置や研修会等を実施

【対象】文化芸術活動者

【事業内容(R6)】

- ・アートの窓口しが設置(11月11日)
- ・相談会、交流会、研修会の開催

「滋賀をみんなの美術館に」プロジェクト

【概要】滋賀県全体をひとつの「美術館」のように感じられるよう、美の資源を活用した地域での取組を補助

【対象】団体 等

7つの要件を満たした事業

【補助額】

- ・フェスティバル型
20万円～150万円
- ・コミュニティ型
20万円～75万円

(公財)びわ湖芸術文化財団

滋賀県アートコラボレーション事業

【概要】地域の多様な文化芸術創造活動との協働事業への補助

- ①ホールプロデュース部門
- ②おうみアートコーディネーター部門
- ③おうみ狂言図鑑部門

【対象】①県内文化ホール設置者 等

②県内アート NPO や文化団体、文化芸術活動を行う個人

③県内文化ホール設置者 等

【補助額】①対象経費の60%以下
(上限 200万円)

②上限 30万円

③上限 70万円

市町 (文化行政担当課、文化施設)

市町文化団体等への補助金の支出、市・町民からの相談対応 等

その他 (民間団体、民間企業の文化財団 等)

■ 淡海ネットワークセンター((公財)淡海文化振興財団)

【概要】未来ファンドおうみ助成事業(基金) 【対象】条件に該当するNPO法人・それに準ずる団体

■ 平和堂財団

【概要】芸術奨励賞

【対象】将来国内外で優秀な芸術活動が期待できる県内の新進芸術家

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

3 文化芸術振興推進体制の構築事業について(令和6年度新規事業)

事業実績

- アートの窓口しが（相談数16件）
相談会：4件、web：12件
- 交流会（3回、合計21名参加）
- 研修会（確定申告講座2回、合計4名参加）

広報実績

SNSフォロワー数 178人
関係機関への挨拶・意見交換
文化団体、大学等 合計11件

相談者・関係者からの声や意見等

相談者

- 広報と運営マネジメントについて相談にのってほしい。
- 活動場所、発表の場、文化芸術活動者が交流できる場を探している。

文化芸術関係者

- 他のアート関係者とのつながりをつくりたいので、交流の場を続けてほしい。
- 文化芸術関係者へのサポート体制の充実、専門性、伴走支援、気軽に相談して助言してもらえる環境があるとよい。
- 文化芸術活動と社会をつないでくれる人がいるとよい。

関係機関・市町文化施設等

- 文化施設からの相談も受けてもらえるとありがたい。
- 研修会の内容について、契約書はアーティストが自らの身を守るために非常に重要だと思うので、よいと思う。

重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

4 他の自治体の事例

支援の形態について

補助金の交付、相談対応、交流会・研修会の開催、ネットワーク形成、情報発信

補助金交付

若手芸術家の育成支援等を目的とする奨励金の交付を行っている都道府県数

1都1道14県 【対象】40歳未満が最多 【交付額】概ね20～50万円

アーツカウンシル【※】の設置

【※】アーツカウンシル（文化庁HPから引用）

専門家による助言、審査、評価、調査研究等の機能を有する組織

■ 地域アーツカウンシル設置自治体

1都1府8県10市

（東京都、大阪府市、長野県、静岡県、岡山県、高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県、沖縄県、横浜市、新潟市、名古屋市、堺市、前橋市、さいたま市、浜松市、川崎市、金沢市）

■ アーツカウンシルネットワーク参加団体

京都府：本庁および広域振興局に文化の専門人材を配置し地域の文化活動を支援。

神奈川県：（公財）神奈川芸術文化財団が県からの委託を受け実施

大分県：アーツ・コンソーシアム大分（県、県立芸術短大とともに設立）

■ アーツカウンシルと名乗ってはいないがその機能を有する自治体

京都市：京都芸術センター（（公財）京都市芸術文化協会が指定管理）